

報告資料 3

令和6年度昭島市立学校学校経営重点計画（教育推進計画）について

1 目的

- ・各学校が、自らの教育活動その他の学校運営について、目指すべき目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取組の適切さ等について評価することにより、学校として組織的・継続的に改善を図ること。
- ・各学校が、自己評価及び学校関係者評価の実施とその結果の説明・公表により、保護者、地域住民から自らの教育活動その他の学校運営に対する理解と参画を得て、信頼される開かれた学校づくりを進めること。
- ・教育委員会が、学校評価の結果に応じて、学校に対する支援や条件整備等の必要な措置を講じることにより、教育の質を保証し、その向上を図ること。

2 スケジュール

学期	学 校 の 取 組		教育委員会事務局 の取組
	自己評価	学校関係者評価委員会 (学校評議員会・学校連絡協議会)	
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ○学校経営方針の確認 ○学校評価計画の作成・ホームページへの公表 ○自己評価（中間）の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校評議員（学校関係者評価委員）の選任 ○第1回学校評議員会及び学校連絡協議会 ・学校経営方針・学校評価計画の説明 ○学校関係者評価の実施 ・授業参観、行事参観等 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校評価計画の受付・とりまとめ ○教育委員会への前年度学校評価結果の報告と今年度の評価計画の報告
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ○自己評価（中間）の提出 ○児童・生徒、保護者アンケートの実施 ○教育課程届出説明会 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校関係者評価の実施 ・授業参観、行事参観等 ○第2回学校評議員会及び第3回学校連絡協議会 ・自己評価（中間）報告 	<ul style="list-style-type: none"> ○自己評価（中間）の受付 ○教育課程届出説明会
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ○自己評価（年度末）の実施 ○教育課程の作成・提出 ○学校評価結果報告書の提出・ホームページへの公表 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校関係者評価の実施 ・授業参観等 ○第3回学校評議員会及び第5回学校連絡協議会 ・自己評価（年度末）報告 ・学校関係者評価のとりまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ○教育課程届出相談・自己評価結果ヒアリング ○教育課程届出受付 ○学校評価結果報告書受付・とりまとめ ○教育委員会への報告（翌年度）

3 各学校の計画

別紙による

学校教育目標	◎よく考える子 ◎思いやりのある子 ◎健康で明るい子	【目指す学校像】	○子供たちが、安全・安心に楽しく過ごせる学校 ○家庭・地域と共にある学校 ○子供たちが、学ぶ喜びを実感できる学校
		【目指す児童・生徒像】	○自ら考え、主体的に学ぶ子供 ○互いを尊重し、思いやりのある言動をとることができる子供 ○心身ともに健康で、活力のある子供
		【目指す教師像】	○人権感覚を磨き、子供を大切にする教師 ○常に向上心を持ち、指導力の向上に努める教師 ○公務員としての自覚を持ち、信頼される教師

領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策
確かな学力	学ぶ楽しさを実感できる授業改善の推進 日常の指導の充実	基礎的・基本的な学習内容の確実な定着	○指導と評価の一体化した授業 ○タブレット端末を活用した授業実践 ○学力調査の結果の分析及び授業改善推進プランの作成・実行 ○めあてを明確にし、振り返りを確実に行う授業	4 4項目全て取り組むことができた 3 3項目は取り組むことができた 2 2項目は取り組むことができた 1 1項目は取り組むことができた		4 90%以上の児童が授業が分かると回答 3 80%～90%未満の児童が授業が分かると回答 2 70%～80%未満の児童が授業が分かると回答 1 70%未満の児童が授業が分かると回答					
		読書に関する指導や読書の習慣化への取組を日常化した読書活動の充実	○朝読書の計画的な取組 ○読書月間の取組の充実 ○図書支援員の有効活用 ○授業での図書資料の活用	4 4項目全て取り組むことができた 3 3項目は取り組むことができた 2 2項目は取り組むことができた 1 1項目は取り組むことができた		4 95%以上の児童が30分以上の読書をしていると回答 3 85%～90%未満の児童が30分以上の読書をしていると回答 2 80%～85%未満の児童が30分以上の読書をしていると回答 1 80%未満の児童が30分以上の読書をしていると回答					
		多様性に応じた指導、インクルーシブ教育の推進	○校内委員会の充実 ○大空教員との連携 ○ユニバーサルデザインを意識した環境づくり ○個に応じた教材・教具の工夫	4 4項目全て取り組むことができた 3 3項目は取り組むことができた 2 2項目は取り組むことができた 1 1項目は取り組むことができた		4 90%以上の児童が授業にすすんで取り組んでいると回答 3 80%～90%未満の児童が授業にすすんで取り組んでいると回答 2 70%～80%未満の児童が授業にすすんで取り組んでいると回答 1 70%未満の児童が授業にすすんで取り組んでいると回答					
豊かな心	自然体験活動や福祉体験、勤労体験活動等の豊かな体験の場を設定し、人と関わり合いの中で、子供の内面を育てる道徳的な指導の実践	道徳全体計画、年間計画の見直しと「特別の教科 道徳」の授業改善と充実	○教職員同士による授業参観 ○道徳的価値や内容項目を明確にし、児童の変容を見取る ○年間指導計画の確実な実施 ○全教育活動を通じた道徳教育の実施	4 4項目全て取り組むことができた 3 3項目は取り組むことができた 2 2項目は取り組むことができた 1 1項目は取り組むことができた		4 90%以上の児童が自分や友達を大切にしていると回答 3 85%～90%未満の児童が自分や友達を大切にしていると回答 2 80～85%未満の児童が自分や友達を大切にしていると回答 1 80%未満の児童が自分や友達を大切にしていると回答					
		いじめの未然防止と早期発見、早期対応を推進し、安全で安心な学校の実現	○毎学期のアンケートを生かし、スクールカウンセラーや専門機関と連携し、いじめ・不登校の実現 ○迅速かつ密な情報共有による組織的な対応	4 アンケート実施後の個別対応100% 3 アンケート実施後の個別対応95% 2 アンケート実施後の個別対応90% 1 アンケート実施後の個別対応85%		4 不登校(傾向を含む)人数0人 3 1人 2 2人 1 3人					
		学校行事等を通して異学年間の交流を深め、豊かな人間性の育成	○交流体験活動の実施 ○実践的体験活動の実施 ○栽培体験学習の実施 ○縦割り班活動の充実	4 4項目全て取り組むことができた 3 3項目は取り組むことができた 2 2項目は取り組むことができた 1 1項目は取り組むことができた		4 90%以上の児童が学校が楽しいと回答 3 80%～90%未満の児童が学校が楽しいと回答 2 70%～80%未満の児童が学校が楽しいと回答 1 70%未満の児童が学校が楽しいと回答					
健やかな体	様々な運動を体験させて、その特性に触れた運動技能を身に付けた運動技能を身に付けた実践及び健康教育・食育の推進	学年や学級、異年齢集団での遊びの奨励	○休み時間の外遊びの奨励 ○運動に親しみやすい環境整備 ○運動集会を活用した児童の運動への興味・関心の向上	4 毎週子供たちと一緒に遊ぶ時間の確保3回以上 3 2回 2 1回 1 0回		4 90%以上の児童が遊んだり体を動かしたりすると回答 3 80%～90%未満の児童が遊んだり体を動かしたりすると回答 2 70%～80%未満の児童が遊んだり体を動かしたりすると回答 1 70%未満の児童が遊んだり体を動かしたりすると回答					
		年間を通じた体力向上への取組(「元気アップガイドブック」等の活用)	○「元気アップガイドブック」の活用及び「グッドモーニング60分」への取組 ○運動の特性を生かす体育授業改善 ○めあてが明確な学習の展開 ○オリンピック・パラリンピック大会後のレガシーを生かした取組	4 4項目全て取り組むことができた 3 3項目は取り組むことができた 2 2項目は取り組むことができた 1 1項目は取り組むことができた		4 90%以上の家庭が体力向上に満足と回答 3 80%～90%未満の家庭が体力向上に満足と回答 2 70%～80%未満の家庭が体力向上に満足と回答 1 70%未満の家庭が体力向上に満足と回答					
		食育の充実	○ランチルームの計画的な有効活用 ○栄養教諭や共同調理場と連携した食育の推進 ○地域人材や資源を活用した食育に関する授業の実施	4 1年間で食育に関する授業の実施3回以上 3 2回 2 1回 1 0回		4 1年間の残菜率7% 3 1年間の残菜率8% 2 1年間の残菜率9% 1 1年間の残菜率10%					
輝く未来	人権尊重の精神を基調として心身ともに健康な児童の育成を目指し、自他の大切さを認め、人権課題について学び、権利と義務、自由と責任についての認識を深める。また、児童が未来を生き抜く力の育成	一人一人のよさを生かし、意欲とまとまりのある学級集団づくり	○学級経営の振り返り・評価・改善 ○児童の考えや意見を生かした教育活動の工夫 ○学級満足度調査「Q-U」の結果を有効に生かした児童理解・学級づくり ○学級満足度調査「Q-U」の結果を有効に生かした課題の把握・改善	4 4項目全て取り組むことができた 3 3項目は取り組むことができた 2 2項目は取り組むことができた 1 1項目は取り組むことができた		4 QUの結果で各学級の要支援群0人 3 1人 2 2人 1 3人					
		学級活動を中心に、全教育活動におけるキャリア教育の充実	○学校生活への適応 ○仲間づくり、集団の結束 ○自ら役割の自覚 ○年間指導計画に応じたキャリア教育の実践	4 4項目全て取り組むことができた 3 3項目は取り組むことができた 2 2項目は取り組むことができた 1 1項目は取り組むことができた		4 90%以上の児童が得意・ものを考えると回答 3 80%～90%未満の児童が得意・ものを考えると回答 2 70%～80%未満の児童が得意・ものを考えると回答 1 70%未満の児童が得意・ものを考えると回答					
		保護者・地域と連携し、様々な活動を通して、将来への希望をもたせる	○地域人材を活用した取組の充実 ○家庭訪問・個人面談の実施 ○専門機関との連携 ○PTA活動への理解と協力	4 4項目全て取り組むことができた 3 3項目は取り組むことができた 2 2項目は取り組むことができた 1 1項目は取り組むことができた		4 90%以上の児童が将来について考えると回答 3 80%～90%未満の児童が将来について考えると回答 2 70%～80%未満の児童が将来について考えると回答 1 70%未満の児童が将来について考えると回答					

学校教育目標	○ 助け合う子 ◎ 考える子【重点目標】 ○ きたえる子	【目指す学校像】	○児童が、「学びの実感」「協働意識」「心と体の元気」を感じる学校 ○児童が、自己決定しながら「なりたい自分」を目指す学校
		【目指す児童・生徒像】	○学ぶ楽しさを知り、自己調整しながら学ぶ子ども ○自分を大切に、しなやかに、共に伸びようとする子ども ○心と体に興味をもち、たくましく生きようとする子ども ○「なりたい自分」を目指し、自己決定ができる子ども
		【目指す教師像】	○温かな教育をする教師 ○子どもを信じ、子供の思いを大切にする教師 ○共成小の教育に貢献する教師 ○マネジメントできる教師

領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策		
確かな学力	児童が主体的に学ぶ学習者中心の授業改善により、「個別最適な学び」「協働的な学び」の一体的な充実を図る。	教師の「ファシリテーション力」UP	・児童に委ねる覚悟	4 全教員が4項目全て取り組むことができた。		4 すすんで学習に取り組む…9割以上							
			・学び方の指導	3 全教員が3項目全て取り組むことができた。		3 すすんで学習に取り組む…8割以上							
			・導入の工夫	2 全教員が2項目全て取り組むことができた。		2 すすんで学習に取り組む…7割以上							
			・見通し・ゴールの明確化	1 一部の教員が2項目以上には至らなかった。		1 すすんで学習に取り組む…7割未満							
		「自己選択・自己決定」で児童の学習意欲向上	・自己選択の場の設定	4 全教員が4項目全て取り組むことができた。		4 学習していることが分かる…9割以上							
			・自己決定の成功体験	3 全教員が3項目全て取り組むことができた。		3 学習していることが分かる…8割以上							
			・自分に合った目標設定	2 全教員が2項目全て取り組むことができた。		2 学習していることが分かる…7割以上							
			・自由学習への挑戦	1 一部の教員が2項目以上には至らなかった。		1 学習していることが分かる…7割未満							
		「協働的な学び」の充実で学びの楽しさ、学びの深まり、広がりへ	・多様な他者とのかかわり	4 全教員が4項目全て取り組むことができた。		4 話し合い・発表する時間にすすんで参加している…9割以上							
			・共有する場の設定	3 全教員が3項目全て取り組むことができた。		3 話し合い・発表する時間にすすんで参加している…8割以上							
			・教え合いの場の設定	2 全教員が2項目全て取り組むことができた。		2 話し合い・発表する時間にすすんで参加している…7割以上							
			・ICTの効果的活用	1 一部の教員が2項目以上には至らなかった。		1 話し合い・発表する時間にすすんで参加している…7割未満							
「振り返り」の工夫・充実で学びの自覚へ	・個⇒協⇒個の授業構成	4 全教員が4項目全て取り組むことができた。		4 学習したことをしっかりと振り返っている…9割以上									
	・毎時間の学びの自覚	3 全教員が3項目全て取り組むことができた。		3 学習したことをしっかりと振り返っている…8割以上									
	・確実な単元の振り返り	2 全教員が2項目全て取り組むことができた。		2 学習したことをしっかりと振り返っている…7割以上									
	・ICT活用で振り返りの工夫	1 一部の教員が2項目以上には至らなかった。		1 学習したことをしっかりと振り返っている…7割未満									
豊かな心	児童が自尊感情をもち、「安心基地(安心な環境)」の中で、自他を大切にしながら協働できる学校を創る。	全ての児童にとっての「安心基地・居場所」づくり	・SOSの出し方指導	4 全教員が4項目全て取り組むことができた。		4 学校で安心して学習・生活できている…8割以上							
			・いじめの防止・早期解決	3 全教員が3項目全て取り組むことができた。		3 学校で安心して学習・生活できている…7割以上							
			・相談しやすい環境	2 全教員が2項目全て取り組むことができた。		2 学校で安心して学習・生活できている…6割以上							
			・個別の配慮・支援	1 一部の教員が2項目以上には至らなかった。		1 学校で安心して学習・生活できている…6割未満							
		互いに認め合い、自他を尊重する人権感覚の醸成	・友達の良いところ探し	4 全教員が4項目全て取り組むことができた。		4 自分も相手も大切にしている…9割以上							
			・感謝を伝え合う関係作り	3 全教員が3項目全て取り組むことができた。		3 自分も相手も大切にしている…8割以上							
			・道徳授業の質の向上	2 全教員が2項目全て取り組むことができた。		2 自分も相手も大切にしている…7割以上							
			・優しい言葉の浸透	1 一部の教員が2項目以上には至らなかった。		1 自分も相手も大切にしている…7割未満							
		他者につながり、協働する喜びの実感	・挨拶・アイコンタクト	4 全教員が4項目全て取り組むことができた。		4 みんなと一緒に活動することが楽しい…9割以上							
			・児童間交流の充実	3 全教員が3項目全て取り組むことができた。		3 みんなと一緒に活動することが楽しい…8割以上							
			・児童会活動の充実	2 全教員が2項目全て取り組むことができた。		2 みんなと一緒に活動することが楽しい…7割以上							
			・多様な他者との関わり	1 一部の教員が2項目以上には至らなかった。		1 みんなと一緒に活動することが楽しい…7割未満							
健やかな体	児童が自分の「心と体の元気」を感じながら、体力向上と健康について考え、実践する態度を育む。	運動する楽しさの実感と日常的な運動遊びの充実と体育授業改善	・運動遊びの充実	4 全教員が4項目全て取り組むことができた。		4 体力が付いてきている実感…9割以上							
			・元氣アップガイドブック活用	3 全教員が3項目全て取り組むことができた。		3 体力が付いてきている実感…8割以上							
			・共成サーキットなどの取組	2 全教員が2項目全て取り組むことができた。		2 体力が付いてきている実感…7割以上							
			・体育授業の専門性向上	1 一部の教員が2項目以上には至らなかった。		1 体力が付いてきている実感…7割未満							
		望ましい生活習慣と安全な生活のための実践的態度の育成。	・家庭と連携したGM60分	4 全教員が4項目全て取り組むことができた。		4 望ましい生活習慣が身に付いている…8割以上							
			・食育教育の充実	3 全教員が3項目全て取り組むことができた。		3 望ましい生活習慣が身に付いている…7割以上							
			・安全指導の充実	2 全教員が2項目全て取り組むことができた。		2 望ましい生活習慣が身に付いている…6割以上							
			・児童の危険回避能力向上	1 一部の教員が2項目以上には至らなかった。		1 望ましい生活習慣が身に付いている…6割未満							
		しなやかで折れない心(レジリエンス)の醸成	・ハピネス・マインドの浸透	4 全教員がハピネスマインドを意識した心のもち方を指導した。		4 困ったときに前向きな気持ちをもてる…8割以上							
			・心のもち方指導	3 9割の教員がハピネスマインドを意識した心のもち方を指導した。		3 困ったときに前向きな気持ちをもてる…7割以上							
			・前向きな言葉かけ	2 8割の教員がハピネスマインドを意識した心のもち方を指導した。		2 困ったときに前向きな気持ちをもてる…6割以上							
			・自尊感情の向上	1 7割の教員がハピネスマインドを意識した心のもち方を指導した。		1 困ったときに前向きな気持ちをもてる…6割未満							
輝く未来	認め合いのある温かな集団の中で、児童が自己の良さを実感し、自己決定しながら、「なりたい自分」を目指す学校を創る。	児童が主体性に学校や学級をよりよくしようとする力の育成	・一人一人の活躍の場	4 全教員が児童の活躍の場と、主体性を促す指導をした。		4 学校や学級で役に立っている…8割以上							
			・学級会活動の充実	3 9割の教員が児童の活躍の場と、主体性を促す指導をした。		3 学校や学級で役に立っている…7割以上							
			・主体性を発揮できる行事	2 8割の教員が児童の活躍の場と、主体性を促す指導をした。		2 学校や学級で役に立っている…6割以上							
			・共成会議、実行委員	1 7割の教員が児童の活躍の場と、主体性を促す指導をした。		1 学校や学級で役に立っている…6割未満							
		温かく、共感的な人間関係に支えられた望ましい学級集団づくり	・ルールや規律の徹底	4 全学級担任が4項目を意識した学級経営を行った。		4 クラスは楽しい…9割以上							
			・挑戦できる学級風土	3 9割の学級担任が4項目を意識した学級経営を行った。		3 クラスは楽しい…8割以上							
			・QU結果の効果的活用	2 8割の学級担任が4項目を意識した学級経営を行った。		2 クラスは楽しい…7割以上							
			・SGE、SST、PAの活用	1 7割の学級担任が4項目を意識した学級経営を行った。		1 クラスは楽しい…7割未満							
		「なりたい自分」の実現に向け、自己選択・自己決定できる力の向上	・キャリアアルバムを活用	4 全教員が児童の姿容を認め、児童に伝え価値づけた。		4 自分で決めて行動できる…8割以上							
			・自己選択の場の設定	3 9割の教員が児童の姿容を認め、児童に伝え価値づけた。		3 自分で決めて行動できる…7割以上							
			・成功体験の積み上げ	2 8割の教員が児童の姿容を認め、児童に伝え価値づけた。		2 自分で決めて行動できる…6割以上							
			・主体的行動への環境整備	1 7割の教員が児童の姿容を認め、児童に伝え価値づけた。		1 自分で決めて行動できる…6割未満							

学校教育目標	○ よく考える子ども ○ けんこうな子ども ○ すすんで働く子ども ◎ 思いやりのある子ども	【目指す学校像】	職員が組織的に協働して、児童が主体的に活動し、生涯学習の基礎を確実に身に付け、家庭・地域の信託に応える学校
		【目指す児童・生徒像】	未来の創り手として、自ら考え、創造力・表現力に富み、互いを尊重し人の為に尽くす、心身共に健康で活力に満ちた子供
		【目指す教師像】	児童・保護者・地域の願いを受け止め、熱い心と志を持ち、変革に臆することなく、使命と役割を遂行し、結果に責任を持つ教師

領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策	
確かな学力	自ら学びに向かい、創造力・表現力に富み、正解のない課題に納得解を導く子の育成	主体的に学びに向かう力の涵養とともに、学習習慣の確立	「学びのすすめ」「自主学習ノート」「寺子屋」の推進等、授業と家庭学習との連携強化	4 寺子屋…実施回数90%以上	評価	4 学年×10分の家庭学習…90%以上	評価					
				3 寺子屋…実施回数80%以上		3 学年×10分の家庭学習…80%以上						
				2 寺子屋…実施回数70%以上		2 学年×10分の家庭学習…70%以上						
		生きて働く基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得	UDやICT、授業スタイルやノートの統一、板書や発問の工夫等、効果的な学習指導	4 教科でのICT活用…90%以上の授業	評価	4 診断シート正答数半数未満…10%未満	評価					
				3 教科でのICT活用…80%以上の授業		3 診断シート正答数半数未満…20%未満						
				2 教科でのICT活用…70%以上の授業		2 診断シート正答数半数未満…30%未満						
		未知の課題に納得解を導き、新たな価値を創造する力の育成	「探求ノート」を活用した課題解決等、自ら考え判断し表現する学習と深い学びの重視	4 探求ノートの活用…年20回以上	評価	4 主体的に課題解決…90%以上	評価					
				3 探求ノートの活用…年10回以上		3 主体的に課題解決…80%以上						
				2 探求ノートの活用…年5回以上		2 主体的に課題解決…70%以上						
豊かな心	認知機能を高め、自分も他の人も尊重し、敬意をもって大切にできる心豊かな子の育成	個性を生かし、相互の信頼関係を深め、自己有用感の醸成	「h-QU」の結果を生かした児童集会や縦割り班活動等、異年齢集団の活動の推進	4 異学年活動…実施率90%以上	評価	4 社会通念上のいじめ…0~5件	評価					
				3 異学年活動…実施率80%以上		3 社会通念上のいじめ…6~15件						
				2 異学年活動…実施率70%以上		2 社会通念上のいじめ…16~30件						
		認知機能を高め、自己共に敬意をもって関係する力の育成	「コグトレ」や学級活動の工夫による認知機能や感情統制、やり抜く力等の重視	4 コグトレ…実施率90%以上	評価	4 認知機能の向上…90%以上の児童	評価					
				3 コグトレ…実施率80%以上		3 認知機能の向上…90%以上の児童						
				2 コグトレ…実施率70%以上		2 認知機能の向上…70%以上の児童						
		自他を大切に、よく生きる、内面に根ざした道徳性の涵養	問題解決的あるいは体験を通じた発問構成の工夫、広い視野で考え議論する道徳	4 考え議論する道徳…実施率90%以上	評価	4 自分事として考える…80%以上の児童	評価					
				3 考え議論する道徳…実施率80%以上		3 自分事として考える…70%以上の児童						
				2 考え議論する道徳…実施率70%以上		2 自分事として考える…60%以上の児童						
健やかな体	基本的な生活習慣を身に付け、運動に親しみ、心身共に健康で活力に満ちた子の育成	新しい生活様式に基づき、人の命を守る意識と行動力の育成	「グッドモーニング60分」等、家庭との協働を強化し、感染防止と新しい生活様式の定着	4 グッドモーニングの取組…90%以上の児童	評価	4 病欠児童…1日の平均0~3人	評価					
				3 グッドモーニングの取組…80%以上の児童		3 病欠児童…1日の平均4~7人						
				2 グッドモーニングの取組…70%以上の児童		2 病欠児童…1日の平均8~11人						
		基礎的な体力の向上と生涯に渡り運動に親しむ資質能力の向上	「元気アップがイブック」を活用した運動習慣につながる授業の工夫、家庭との連携協力	4 元気アップの取組…18項目以上	評価	4 運動することが楽しい…90%以上の児童	評価					
				3 元気アップの取組…14項目以上		3 運動することが楽しい…80%以上の児童						
				2 元気アップの取組…10項目以上		2 運動することが楽しい…70%以上の児童						
		様々な欲求やストレス等に対して、適切に対処できる力の醸成	自殺防止授業の他、全学年で「SOSカード」を活用した多様な対処方法を推進	4 学級外の児童支援…90%以上の教員	評価	4 大人に相談できる…90%以上の児童	評価					
				3 学級外の児童支援…80%以上の教員		3 大人に相談できる…80%以上の児童						
				2 学級外の児童支援…70%以上の教員		2 大人に相談できる…70%以上の児童						
輝く未来	未知の課題を思索し、新たな価値観や行動を生み出し、協働して未来を創造する子の育成	言語能力とともに、未知の課題に向き合い思索する力の育成	学校図書館に学習・情報センター機能をもたせ、全教育課程で言語活動を充実	4 図書館機能を活用…全学級月4回以上	評価	4 言語能力向上…80%以上の児童	評価					
				3 図書館機能を活用…全学級月3回		3 言語能力向上…70%以上の児童						
				2 図書館機能を活用…全学級月2回		2 言語能力向上…60%以上の児童						
		情報活用能力とともに、新たな解を創造する力の醸成	1人1台の端末やオンラインの活用など、見方・考え方を働かせながら思索する場の充実	4 タブレットの活用…全学級週10回以上	評価	4 論理的思考力向上…80%以上の児童	評価					
				3 タブレットの活用…全学級週6~9回		3 論理的思考力向上…70%以上の児童						
				2 タブレットの活用…全学級週3~5回		2 論理的思考力向上…60%以上の児童						
		多様な文化を尊重し、世界の人々と協調し活躍できる人材に育成	調べる学習コンクール参加等、家庭や地域と連携・協働した自己実現への手立ての充実	4 調べる学習コン指導…100%の学級	評価	4 主体的に探究…80%以上の児童	評価					
				3 調べる学習コン指導…90%以上の学級		3 主体的に探究…70%以上の児童						
				2 調べる学習コン指導…80%以上の学級		2 主体的に探究…60%以上の児童						
		1 調べる学習コン指導…80%未満の学級		1 主体的に探究…60%未満の児童								

学校教育目標	○しっかり考える子(問題解決力) ○心やさしい子(人間関係形成力) ○つよく元気な子(体力・活力)	【目指す学校像】	○児童にとって充実した学校 ○保護者にとって信頼できる学校 ○教職員にとって働きがいのある学校
		【目指す児童・生徒像】	○思考力・判断力・表現力を身に付けた子ども○感性あふれる豊かな心をもつ子ども ○すすんで心と体を鍛えることができる子ども
		【目指す教師像】	○ありのままの児童を受け止め、個性を發揮させる教師 ○授業で勝負できる教師 ○家庭・地域との相互理解を深め協働できる教師

領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組目標	評価	成果指標	評価	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策
確かな学力	○基礎的・基本的な学習内容の定着を図るとともに主体的・対話的で深い学びによる授業改善を目指す。	○授業の中で学ぶ楽しさを味わい、主体的に学習する態度の育成を図る。	○児童が主体的に学習に励み、3つの資質能力の育成を図れるよう問題解決能力の育成を図る。	4 全教員がアンケートを実施した。	4 HQ調査で70%以上の児童が肯定的な回答をしている。	4 HQ調査で70%以上の児童が肯定的な回答をしている。					
				3 80%～100%未満の教員がアンケートを実施した。		3 HQ調査で70%未満～60%の児童が肯定的な回答をしている。					
				2 70%～80%未満の教員がアンケートを実施した。		2 HQ調査で60%未満～50%の児童が肯定的な回答をしている。					
				1 70%未満の教員がアンケートを実施した。		1 HQ調査で50%未満の児童が肯定的な回答をしている。					
				4 全教員が教員が身に付けさせるICT操作能力を把握し、指導している。		4 90%以上の児童がICT操作能力を身に付けている。					
				3 80%～100%未満の教員が身に付けさせるICT操作能力を把握し、指導している。		3 80%～90%未満の児童がICT操作能力を身に付けている。					
		○ICTを活用した授業を充実させ、児童の「情報活用能力」の育成を図る。	○各学年で昭島市から示されている「子供たちに身に付けさせたいICT操作能力」を把握し、資質能力の育成を目指す。	4 70%～80%未満の教員が身に付けさせるICT操作能力を把握し、指導している。	4 70%～80%未満の児童がICT操作能力を身に付けている。						
				3 70%～80%未満の教員が身に付けさせるICT操作能力を把握し、指導している。	3 70%～80%未満の児童がICT操作能力を身に付けている。						
				2 70%～80%未満の教員が身に付けさせるICT操作能力を把握し、指導している。	2 70%～80%未満の児童がICT操作能力を身に付けている。						
				1 70%未満の教員が身に付けさせるICT操作能力を把握し、指導している。	1 70%未満の児童がICT操作能力を身に付けている。						
				4 各学級で図書室を月4回以上使用した。	4 90%以上の児童が2週に1度以上図書室を利用している。						
				3 各学級で図書室を月3回以上使用した。	3 80%～90%未満の児童が2週に1度以上図書室を利用している。						
豊かな心	○相手の気持ちを想像し、人との関わりを大切にできる豊かな心を育成する。	○児童の自己肯定感を高め、常に相手のことを考え行動することができるようにする。	○HQ調査を年2回実施し、学級の実態に応じた指導をする。	4 全教員がアンケートから個々の児童に応じた指導を行った。	4 学級生活満足群が50%以上	4 学級生活満足群が40%以上					
				3 80～100%の教員がアンケートから個々の児童に応じた指導を行った。		3 学級生活満足群が30%以上					
				2 70%から80%未満の教員がアンケートから個々の児童に応じた指導を行った。		2 学級生活満足群が30%以下					
				1 70%未満の教員がアンケートから個々の児童に応じた指導を行った。		1 学級生活満足群が30%以下					
				4 すべての教員が各教科と関連付け、道徳教育を行った		4 学校生活アンケート調査の関連項目から90%以上					
				3 70%～100%の教員が各教科と関連付け、道徳教育を行った		3 学校生活アンケート調査の関連項目から70%以上					
		○道徳科を道徳教育の要の時間と位置付け、教科横断的な視点で各教科にて、計画的・発展的に行うようにする。	○教科横断的な視点で、年間指導計画に位置付け、計画的に指導し、道徳教育の一層の充実を図る。	2 40%～70%の教員が各教科と関連付け、道徳教育を行った	2 学校生活アンケート調査の関連項目から50%以上						
				1 40%未満の教員が各教科と関連付け、道徳教育を行った	1 学校生活アンケート調査の関連項目から30%以上						
				4 全教員がいじめの定義に対する共通理解に関する項目を理解し指導を行った。	4 学校生活アンケート調査の関連項目から90%以上						
				3 80%～100%未満の教員がいじめの定義に対する共通理解に関する項目を理解し指導を行った。	3 学校生活アンケート調査の関連項目から70%以上						
				2 70%～80%未満の教員がいじめの定義に対する共通理解に関する項目を理解し指導を行った。	2 学校生活アンケート調査の関連項目から50%以上						
				1 70%未満の教員がいじめの定義に対する共通理解に関する項目を理解し指導を行った。	1 学校生活アンケート調査の関連項目から30%以上						
健やかな体	○自分の心と体の健康に関心をもち、基礎的な体力と心身の育成と向上を図る。	○児童体力・運動能力、生活運動習慣の向上に向け、運動の習慣化を図り、体力の向上を推進する。	○体力向上プロジェクトや短なわや長なわの取組を実施し、運動することの楽しさやよさを味わわせる。	4 全教員が計画を活用した指導を行った	4 調査結果が昨年比平均ポイントから+2ポイント以上	4 調査結果が昨年比～+2ポイント					
				3 80%～100%未満の教員が計画を活用した指導を行った		3 調査結果が昨年比-2ポイント以内					
				2 70%～80%未満の教員が計画を活用した指導を行った		2 調査結果が昨年比-2ポイント以下					
				1 70%未満の教員が計画を活用した指導を行った		1 調査結果が昨年比-2ポイント以下					
				4 全教員が計画的な指導を実施した		4 90%以上の児童が目標を達成している					
				3 80%から100%未満の教員が計画的に指導した		3 80%～90%未満の児童が目標を達成している					
		○規則正しい生活と健康・安全に留意できる児童の姿を目指す。	○毎学期実施する「すまいるカード」の取組の結果を集計し、その結果を集計・分析し、日々の指導改善に努める。	2 70%から80%の教員が計画的に指導した	2 70%～80%未満の児童が目標を達成している						
				1 70%未満の教員が計画的に指導した	1 70%未満の児童が目標を達成している						
				4 全教員が食育計画を活用した指導を行った	4 90%以上の児童が食育のめあてを達成している						
				3 80%～100%未満の教員が食育計画を活用した指導を行った	3 80%～90%未満の児童が食育のめあてを達成している						
				2 70%～80%未満の教員が食育計画を活用した指導を行った	2 70%～80%未満の児童が食育のめあてを達成している						
				1 70%未満の教員が食育計画を活用した指導を行った	1 70%未満の児童が食育のめあてを達成している						
輝く未来	○子供たちが自立し、未未来社会を切り開くための資質能力を身に付け、多様な人との関わりの中でコミュニケーション能力の育成を図る。	○幼保・小中が連携し、児童が安心して進級・進学できるようにする。	○幼保・小中連携教育の推進を図るとともに、学年始めに「キャリアアルバム」を作成し、目標をもって生活を送れるようにする。	4 全教員が方策を実施した	4 90%以上の児童がキャリアアルバムを書き、成長の記録を残した。	4 80%～90%未満の児童がキャリアアルバムを書き、成長の記録を残した。					
				3 80%～100%未満の教員が方策を実施した		3 70%～80%未満の児童がキャリアアルバムを書き、成長の記録を残した。					
				2 70%～80%未満の教員が方策を実施した		2 70%～80%未満の児童がキャリアアルバムを書き、成長の記録を残した。					
				1 70%未満の教員が方策を実施した		1 70%未満の児童がキャリアアルバムを書き、成長の記録を残した。					
				4 全学年の教員が交流体験を実施した		4 全学年で外部人材を活用した授業を行った。					
				3 80%～100%未満の学年・教員が交流体験を実施した		3 9学級以上で外部人材を活用した授業を行った。					
		○教育活動を通して外部人材と交流体験できるようにする。	○文化、スポーツ、高齢者、外国人、地域工場・店舗等での学びの場を各学年設定する。	2 70%～80%未満の学年・教員が交流体験を実施した	2 6学級以上で外部人材を活用した授業を行った。						
				1 70%未満の学年・教員が交流体験を実施した	1 4学級以上で外部人材を活用した授業を行った。						
				4 各行事の実施を受け、すべての行事でアンケートを実施した。	4 80%以上の保護者が教育活動への理解を示している。						
				3 各行事の実施を受け、7割程度の行事でアンケートを実施した。	3 50%以上の保護者が教育活動への理解を示している。						
				2 各行事の実施を受け、5割程度の行事でアンケートを実施した。	2 20%以上の保護者が教育活動への理解を示している。						
				1 各行事の実施を受け、3割程度の行事でアンケートを実施した。	1 20%未満の保護者が教育活動への理解を示している。						

学校教育目標	◎精いっぱい学習する子 ○人のためにつくす子 ○すすんで体をきたえる子	【目指す学校像】	・子供たちにとって学びがいのある学校 ・教職員にとって働きがいのある学校
		【目指す児童・生徒像】	・心身共に健康な児童 ・創造性に富んだ児童 ・人間として調和のとれた児童
		【目指す教師像】	・人権感覚が豊かな教師 ・創造性に富んだ教師 ・チームを意識した協調性のある教師 ・絶えず研究と修養に励む教師

領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策	
確かな学力	「分かること・できることが楽しい」 基礎的な知識及び技能を習得させるとともに、思考力、判断力、表現力等を育み、主体的に学習に取り組む態度を養う。	主体的・対話的で深い学びを実現する授業を工夫し、自らすすんで学習に取り組む児童を育成する。	授業において、児童相互の学び合い活動を取り入れ、すすんで学習に取り組ませる授業を実践する。	4	目標を効果的に達成するために児童相互の学び合い活動を実施…70%以上の教員	4	話し合う時間や意見などを発表する時間に進んで参加している…70%以上の児童					
				3	目標を効果的に達成するために児童相互の学び合い活動を実施…60%以上の教員	3	話し合う時間や意見などを発表する時間に進んで参加している…60%以上の児童					
				2	目標を効果的に達成するために児童相互の学び合い活動を実施…50%以上の教員	2	話し合う時間や意見などを発表する時間に進んで参加している…50%以上の児童					
				1	目標を効果的に達成するために児童相互の学び合い活動を実施…50%未満の教員	1	話し合う時間や意見などを発表する時間に進んで参加している…50%未満の児童					
		デジタル教科書、タブレット端末等を活用し、「個別最適な学び」「協働的な学び」を推進する。	「ICTスキルステップ表」を基にし、タブレット端末をはじめとしたICT機器を学習に有効的に活用する。	4	目標を効果的に達成するためにICT機器を学習に活用した…70%以上の教員	4	学習にタブレットの活用は役立っている…70%以上の児童					
				3	目標を効果的に達成するためにICT機器を学習に活用した…60%以上の教員	3	学習にタブレットの活用は役立っている…60%以上の児童					
				2	目標を効果的に達成するためにICT機器を学習に活用した…50%以上の教員	2	学習にタブレットの活用は役立っている…50%以上の児童					
				1	目標を効果的に達成するためにICT機器を学習に活用した…50%未満の教員	1	学習にタブレットの活用は役立っている…50%未満の児童					
		インクルーシブ教育の推進とユニバーサルデザインに基づいた教室経営を図る。	インクルーシブ教育の推進とユニバーサルデザインに基づいた教室経営を図る。	4	インクルーシブ教育を推進し、教室をユニバーサルデザインにした…70%以上の教員	4	落ち着いて授業が受けられた…70%以上の児童					
				3	インクルーシブ教育を推進し、教室をユニバーサルデザインにした…60%以上の教員	3	落ち着いて授業が受けられた…60%以上の児童					
				2	インクルーシブ教育を推進し、教室をユニバーサルデザインにした…50%以上の教員	2	落ち着いて授業が受けられた…50%以上の児童					
				1	インクルーシブ教育を推進し、教室をユニバーサルデザインにした…50%未満の教員	1	落ち着いて授業が受けられた…50%未満の児童					
豊かな心	「みんなと仲良くできて楽しい」 道徳教育の充実を図り、人権尊重の精神を醸成し、共に認め高め合い、学校は楽しいと実感できる児童の育成を目指す。	道徳授業の質の向上を図り、自分の考え方に気付き、互いに認め合う児童を育成する。	道徳授業を通して、一人一人の良さを認め、互いに必要とされる実感がもてる学級経営を実践する。	4	お互いを認め合う道徳授業の実施…70%以上の教員	4	思いやりの心をもって行動している…70%以上の児童					
				3	お互いを認め合う道徳授業の実施…60%以上の教員	3	思いやりの心をもって行動している…60%以上の児童					
				2	お互いを認め合う道徳授業の実施…50%以上の教員	2	思いやりの心をもって行動している…50%以上の児童					
				1	お互いを認め合う道徳授業の実施…50%未満の教員	1	思いやりの心をもって行動している…50%未満の児童					
		いじめの未然防止と早期対応を推進し、問題行動に素早く気付き対応し、安心して通える学校にする。	学校いじめ対策基本方針に基づいた指導…70%以上の教員	4	学校いじめ対策基本方針に基づいた指導…70%以上の教員	4	学校で安心して生活できている…70%以上の児童					
				3	学校いじめ対策基本方針に基づいた指導…60%以上の教員	3	学校で安心して生活できている…60%以上の児童					
				2	学校いじめ対策基本方針に基づいた指導…50%以上の教員	2	学校で安心して生活できている…50%以上の児童					
				1	学校いじめ対策基本方針に基づいた指導…50%未満の教員	1	学校で安心して生活できている…50%未満の児童					
		人や自然、文化との関わりを通して、本物と出会い、自尊心や自己有用感を高める。	縦割り班活動の充実を図り、児童同士が実体験を伴う交流を行う。	4	異学年交流活動を含めた指導の実施…70%以上の教員	4	学校や学級の仲間と接している…70%以上の児童					
				3	異学年交流活動を含めた指導の実施…60%以上の教員	3	学校や学級の仲間と接している…60%以上の児童					
				2	異学年交流活動を含めた指導の実施…50%以上の教員	2	学校や学級の仲間と接している…50%以上の児童					
				1	異学年交流活動を含めた指導の実施…50%未満の教員	1	学校や学級の仲間と接している…50%未満の児童					
健やかな体	「心も体も弾んで楽しい」 からがだ計画的に体力向上を推進し、心身ともに健康な児童の育成を目指す。	心身ともに健康で、自己管理のできるたくましい児童の育成を目指す。	健康教育の充実を図るためにグッドモーニング60分の取組を年間を通して行う。	4	健康教育活動の実施…70%以上の教員	4	安全・安心や健康についての知識を活かしている…70%以上の児童					
				3	健康教育活動の実施…60%以上の教員	3	安全・安心や健康についての知識を活かしている…60%以上の児童					
				2	健康教育活動の実施…50%以上の教員	2	安全・安心や健康についての知識を活かしている…50%以上の児童					
				1	健康教育活動の実施…50%未満の教員	1	安全・安心や健康についての知識を活かしている…50%未満の児童					
		一人一人が体力向上を意識できる、体育学習の充実を図る。	コーディネーショントレーニングを含む体力向上へ向けて実践を体育の授業で行う。	4	体力向上に関する指導を20回以上実施…70%以上の教員	4	体を動かしたり遊んだりしている…70%以上の児童					
				3	体力向上に関する指導を20回以上実施…60%以上の教員	3	体を動かしたり遊んだりしている…60%以上の児童					
				2	体力向上に関する指導を20回以上実施…50%以上の教員	2	体を動かしたり遊んだりしている…50%以上の児童					
				1	体力向上に関する指導を20回以上実施…50%未満の教員	1	体を動かしたり遊んだりしている…50%未満の児童					
		自らの健康を適切に管理するとともに改善能力を培う。	元気アップガイドブックの活用した取組を年間を通して行う。	4	元気アップガイドブックの活用した取組を10回以上実施…70%以上の教員	4	食事や栄養についての知識を生かしている…70%以上の児童					
				3	元気アップガイドブックの活用した取組を10回以上実施…60%以上の教員	3	食事や栄養についての知識を生かしている…60%以上の児童					
				2	元気アップガイドブックの活用した取組を10回以上実施…50%以上の教員	2	食事や栄養についての知識を生かしている…50%以上の児童					
				1	元気アップガイドブックの活用した取組を10回以上実施…50%未満の教員	1	食事や栄養についての知識を生かしている…50%未満の児童					
輝く未来	「みんなの役に立てて楽しい」 自己有用感を感じる機会を通して、自分には良いところがあると感じる子供を育成するとともに、キャリア教育を推進し、社会貢献力の育成を図る。	自己有用感を感じる機会を通して、自分には得意なところがあると感じる児童を育成する。	児童が自分自身を見つめ、自分の得意なところを見付ける指導を行う。	4	自分の得意なところを伸ばす指導の実施…70%以上の教員	4	自分の得意なことは何かについて考える…70%以上の児童					
				3	自分の得意なところを伸ばす指導の実施…60%以上の教員	3	自分の得意なことは何かについて考える…60%以上の児童					
				2	自分の得意なところを伸ばす指導の実施…50%以上の教員	2	自分の得意なことは何かについて考える…50%以上の児童					
				1	自分の得意なところを伸ばす指導の実施…50%未満の教員	1	自分の得意なことは何かについて考える…50%未満の児童					
		キャリア教育を推進し、自分の将来に対して考えさせる。	自身の成長や変容に気付くことができるようにキャリア・パスポートの活用を図る。	4	キャリア・パスポートの活用した指導の実施…70%以上の教員	4	自分の将来について考えることがある…70%以上の児童					
				3	キャリア・パスポートの活用した指導の実施…60%以上の教員	3	自分の将来について考えることがある…60%以上の児童					
				2	キャリア・パスポートの活用した指導の実施…50%以上の教員	2	自分の将来について考えることがある…50%以上の児童					
				1	キャリア・パスポートの活用した指導の実施…50%未満の教員	1	自分の将来について考えることがある…50%未満の児童					
		社会への適応性、社会貢献力の育成を図る。	学級や学年、家庭や社会の中での生活と、授業を関連させ、適応性と社会貢献力を養う指導を行う。	4	生活を振り返り、より良くしようとする指導の実施…70%以上の教員	4	これまでの自分の生活を振り返り、より良くしようと思う…70%以上の児童					
				3	生活を振り返り、より良くしようとする指導の実施…60%以上の教員	3	これまでの自分の生活を振り返り、より良くしようと思う…60%以上の児童					
				2	生活を振り返り、より良くしようとする指導の実施…50%以上の教員	2	これまでの自分の生活を振り返り、より良くしようと思う…50%以上の児童					
				1	生活を振り返り、より良くしようとする指導の実施…50%未満の教員	1	これまでの自分の生活を振り返り、より良くしようと思う…50%未満の児童					

学校教育目標	◎よく考える子(すすんで学び考え、あきらめずに問題に取り組む子ども)	【目指す学校像】	○すべての子どもの良さ・可能性を伸ばし、自己肯定感を育てる学校
	○心豊かな子(やさしい心で、自分も他人も大切にすること)	【目指す児童・生徒像】	○自己肯定感をもって自己発揮でき、自分も他人も良さが分かり、大切にできる子ども
	○たくましい子(すすんで体を鍛え、粘りつよく行動する子ども)	【目指す教師像】	○様々な教育課題に適切に対応し、経営参画意識をもって職層に応じた役割を果たしながらチーム力を高めることができる教師集団

領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策
確かな学力	課題解決的な学習展開による探究的な学びの充実	生活科・総合的な学習の時間においてカリキュラム・マネジメントにより教科で習得した力や見方を発揮して課題解決に取り組む。	児童の資質・能力を教科間の連携で育成し、主体的・対話的で深い学びを展開する。	4 全ての単元で実施した。 3 4分の3以上の単元で実施した。 2 2分の1以上の単元で実施した。 1 2分の1未満の単元で実施した。		4 全学年の定着率が90%以上 3 全学年の定着率が80%以上 2 全学年の定着率が70%以上 1 全学年の定着率が70%未満					
		基礎的な知識・技能の習得とのバランスを取りながら、すすんで学び考え、諦めずに問題に取り組む態度を養う。	積極的に学習に取り組むことを通じて自分の苦手分野を知り、解決や克服の努力をすることで学びを深めるようにする。	4 全教科・領域で実施する。 3 90%以上の教科・領域で実施する。 2 80%以上の教科・領域で実施する。 1 実施した教科・領域が80%未満である。		4 学びが深まったと思える児童が80%以上 3 学びが深まったと思える児童が70%以上 2 学びが深まったと思える児童が60%以上 1 学びが深まったと思える児童が60%未満					
		「分かる・できる・楽しい」授業づくりに努め、思考力・判断力・表現力の育成を図る。	学んだことを生かした対話・アウトプットを豊かに取り入れ、個々の知識・技能を活用できるようにする。	4 全学級が取組を行っている。 3 12学級以上が取組を行っている。 2 10学級以上が取組を行っている。 1 取組を行っている学級が10学級未満である。		4 思考力・判断力・表現力の向上が見られた児童が80%以上 3 思考力・判断力・表現力の向上が見られた児童が70%以上 2 思考力・判断力・表現力の向上が見られた児童が60%以上 1 思考力・判断力・表現力の向上が見られた児童が60%未満					
豊かな心	児童の自尊感情・自己肯定感の更なる向上を図り、積極的に社会に関わる人材を育成する。	人権尊重の精神に基づき、いじめのない学級、いじめがなく毎日安心して登校できる学校づくりを行う。	様々な個性が認められる学級づくり、気持ちのよい挨拶や言葉掛けを互いに行い、安心感のある学校を児童とともにつくる。	4 全学級が取組を行っている。 3 12学級以上が取組を行っている。 2 10学級以上が取組を行っている。 1 取組を行っている学級が10学級未満である。		4 すずんで活動に取り組んだと思える児童が90%以上 3 すずんで活動に取り組んだと思える児童が80%以上 2 すずんで活動に取り組んだと思える児童が70%以上 1 すずんで活動に取り組んだと思える児童が70%未満					
		偏見と差別を許さず、多様性を認め合う人権教育を推進する。	道徳教育との関連を図りながら全学年において障害者理解を進める。	4 全学級が道徳教育との関連を図っている。 3 全学級で事前指導・事後指導を行っている。 2 全学級で事前指導を行っている。 1 障害者理解の授業のみを行っている。		4 障害者との共生を具体的に理解した児童が90%以上 3 障害者との共生を具体的に理解した児童が80%以上 2 障害者との共生を具体的に理解した児童が70%以上 1 障害者との共生を具体的に理解した児童が70%未満					
		思いやりと人やもの、こととの関わりを豊かにする教育を推進する。	言語活動の充実、読書指導の充実を図り、自己肯定感の醸成と豊かな心を生み出す風土を築く。	4 全学級が充実した取組を行っている。 3 12学級以上が取組を行っている。 2 10学級以上が取組を行っている。 1 充実した取組を行っている学級が10学級未満である。		4 すずんで活動に取り組んだと思える児童が90%以上 3 すずんで活動に取り組んだと思える児童が80%以上 2 すずんで活動に取り組んだと思える児童が70%以上 1 すずんで活動に取り組んだと思える児童が70%未満					
健やかな体	総合的な体力向上と日常的な健康教育の重視を図りながら、心身ともに健康な子どもを育てる教育	総合的な体力向上と日常的な健康教育の充実を図る。	授業や体育的行事を充実させ、目標をもって自己の体力を向上させる児童を育成する。	4 全学級が充実した取組を行っている。 3 12学級以上が取組を行っている。 2 10学級以上が取組を行っている。 1 充実した取組を行っている学級が10学級未満である。		4 「よく体を動かしている。」児童が80%以上 3 「よく体を動かしている。」児童が70%以上 2 「よく体を動かしている。」児童が60%以上 1 「よく体を動かしている。」児童が60%未満					
		自分の身は自分で守り、困難を乗り越えたくましい心を育む。	自己の体力を知り、めあてをもって努力する気持ちや危険を回避する能力を体力向上の取組の中で養う。	4 全学級が充実した取組を行っている。 3 12学級以上が取組を行っている。 2 10学級以上が取組を行っている。 1 充実した取組を行っている学級が10学級未満である。		4 困難を乗り越えたと思える児童が90%以上 3 困難を乗り越えたと思える児童が80%以上 2 困難を乗り越えたと思える児童が70%以上 1 困難を乗り越えたと思える児童が70%未満					
		心身ともに健康な子どもの育成を図る。	体幹を意識した運動や食育指導の取組を通して心身の健康を保つ大切さを理解し、すすんで取り組む。	4 全学級が取組を行っている。 3 11学級以上が取組を行っている。 2 9学級以上が取組を行っている。 1 取組を行っている学級が10学級未満である。		4 すずんで取り組む児童・家庭が90%以上 3 すずんで取り組む児童・家庭が80%以上 2 すずんで取り組む児童・家庭が70%以上 1 すずんで取り組む児童・家庭が70%未満					
輝く未来	世界に目を向け、正解のない問題に立ち向かう力を育成する。	郷土昭島に対する愛着や誇りをもち、積極的に良さを発信する子どもを育成する。	地域の素材や人材の活用、伝統文化、自然との関わりから昭島の良さを捉え、積極的に発信できるようにする。	4 全学級が取組を行っている。 3 12学級以上が取組を行っている。 2 10学級以上が取組を行っている。 1 取組を行っている学級が10学級未満である。		4 伝統文化や郷土への愛着を抱いた児童が90%以上 3 伝統文化や郷土への愛着を抱いた児童が80%以上 2 伝統文化や郷土への愛着を抱いた児童が70%以上 1 伝統文化や郷土への愛着を抱いた児童が70%未満					
		SDGsを「実社会・実生活」を見る窓として捉え、他者及び自然環境との関係性を認識できるようにする。	自分が学習していること、学習して得たことが「実社会・実生活」とどのように関わるかを理解できるようにする。	4 全学級が充実した取組を行っている。 3 12学級以上が取組を行っている。 2 10学級以上が取組を行っている。 1 充実した取組を行っている学級が10学級未満である。		4 関係性を認識できたと思える児童が90%以上 3 関係性を認識できたと思える児童が80%以上 2 関係性を認識できたと思える児童が70%以上 1 関係性を認識できたと思える児童が70%未満					
		地域や保護者の願いを教育活動に取り入れ、「地域とともにある学校づくり」を推進する。	多様化するニーズに応えながら教育活動を進め、地域社会構築への参画を図る児童を育成する。	4 全学級が参画を考えさせている。 3 12学級以上が取組を行っている。 2 10学級以上が取組を行っている。 1 参画を考えさせた学級が10学級未満である。		4 90%以上が実践意欲を抱いた。 3 80%以上が実践意欲を抱いた。 2 70%以上が実践意欲を抱いた。 1 実践意欲を抱いた児童が70%未満。					

学校教育目標	だれもが笑顔になる学校	【目指す学校像】	○楽しい学びの共同体
		【目指す児童・生徒像】	○自ら学び、表現する子 ○認め合い、協力して行動する子 ○すすんで体を整える子
		【目指す教師像】	○当事者意識をもって学校づくりを行う教師 ○組織で考え、組織で動くことができる教師

領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策		
確かな学力	児童が各教科等の特質に応じた見方・考え方を働かせながら行う、主体的・対話的な学びの実現	教員一人一人が課題意識をもって主体的に取り組む校内研究(特別活動)を充実させ、授業力の向上を図る。	主体的な授業改善を図るために、教員それぞれが抱える課題の改善に向けて、学期ごとに行う授業観察を実施し、その都度検証する。	4	90%以上の教員が授業後の振り返りに取り組んだ。	4	児童アンケート「学校の授業の内容が分かりやすい」が95%以上						
				3	85%以上の教員が授業後の振り返りに取り組んだ。	3	児童アンケート「学校の授業の内容が分かりやすい」が90%以上						
				2	80%以上の教員が授業後の振り返りに取り組んだ。	2	児童アンケート「学校の授業の内容が分かりやすい」が85%以上						
				1	80%未満の教員が授業後の振り返りに取り組んだ。	1	児童アンケート「学校の授業の内容が分かりやすい」が70%未満						
				4	8割以上の授業でICTを活用し、児童主体の個別最適な学習を実践した。	4	児童アンケート「タブレットが勉強の役に立っている」が90%以上肯定的						
				3	7割以上の授業でICTを活用し、児童主体の個別最適な学習を実践した。	3	児童アンケート「タブレットが勉強の役に立っている」が70%以上肯定的						
		児童の学力を把握し、実態に即した授業改善を行うことで、学力の向上を図る。	授業改善推進プランを活用したり、単元ごとの3観点評価を計画的に行ったりすることで、指導と評価の一体化を意識した授業を実践する。	4	90%以上の教員が計画的に授業の評価に取り組んだ。	4	児童アンケート「学校の授業の内容が分かりやすい」が95%以上						
				3	85%以上の教員が計画的に授業の評価に取り組んだ。	3	児童アンケート「学校の授業の内容が分かりやすい」が90%以上						
				2	80%以上の教員が計画的に授業の評価に取り組んだ。	2	児童アンケート「学校の授業の内容がわかりやすい」が85%以上						
				1	70%以上の教員が計画的に授業の評価に取り組んだ。	1	児童アンケート「学校の授業の内容がわかりやすい」が70%未満						
				4	8割以上の授業でICTを活用し、児童主体の個別最適な学習を実践した。	4	児童アンケート「タブレットが勉強の役に立っている」が90%以上肯定的						
				3	7割以上の授業でICTを活用し、児童主体の個別最適な学習を実践した。	3	児童アンケート「タブレットが勉強の役に立っている」が70%以上肯定的						
豊かな心	自分と共に他者を大切にできる態度や、社会の一員であるという自覚と規範意識の育成	自発的に挨拶をする態度を養い、挨拶が自然に通い合う学級、学校をつくる。	年度内の学校生活目標に3度ほど挨拶を取り上げたり、児童会を中心とした挨拶運動に取り組ませたりして、挨拶指導の強化を図る。	4	全教職員が日常的に指導した。	4	児童アンケート「自分から挨拶」が90%以上						
				3	90%以上の教員が日常的に指導した。	3	児童アンケート「自分から挨拶」が80%以上						
				2	80%以上の教員が日常的に指導した。	2	児童アンケート「自分から挨拶」が70%以上						
				1	80%未満の教員が日常的に指導した。	1	児童アンケート「自分から挨拶」が70%未満						
		組織的な道徳教育の推進により、児童一人一人が自らを振り返ることで、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育成する。	道徳教育の全体計画や年間指導計画を見直し、道徳推進教師を中心に、道徳科の授業改善と道徳授業地区公開講座の実施を計画する。	4	90%以上の教員が授業後の振り返りと改善に取り組んだ。	4	児童アンケート「自分や友達を大切にしている」が95%以上						
				3	85%以上の教員が授業後の振り返りと改善に取り組んだ。	3	児童アンケート「自分や友達を大切にしている」が93%以上						
				2	80%以上の教員が授業後の振り返りと改善に取り組んだ。	2	児童アンケート「自分や友達を大切にしている」が90%以上						
				1	80%未満の教員が授業後の振り返りと改善に取り組んだ。	1	児童アンケート「自分や友達を大切にしている」が90%未満						
		心の安全を保障する指導体制を確立し、児童一人一人が安心して、過ごすことができる学校にする。	人権教育プログラムやいじめ総合計画に基づいた組織的な取組により、月に1回以上いじめ対策委員会を開く。また、年に3回以上「いじめに関する授業」を実施する。	4	全教員が3回以上「いじめに関する授業を行った」。	4	児童アンケート「いじめは許さないこと」が95%以上						
				3	90%が3回以上「いじめに関する授業を行った」。	3	児童アンケート「いじめは許さないこと」が93%以上						
				2	80%が3回以上「いじめに関する授業を行った」。	2	児童アンケート「いじめは許さないこと」が90%以上						
				1	80%未満が3回以上「いじめに関する授業を行った」。	1	児童アンケート「いじめは許さないこと」が90%未満						
健やかな体	自ら体を整え、健全な生活を築こうとする児童の育成	児童の実態に基づいた体力の課題を分析し、全校的取組により体力向上を目指す。	昨年の体力調査の結果分析から、筋持久力と走力、敏捷性に課題があることが分かった。敏捷性の向上をテーマにし、元氣アップガイドブックの運動内容を参考にして、元氣アップタイムを実施する。	4	全校児童が参加した。	4	体力テストの結果で4学年以上が敏捷性で市平均以上						
				3	90%以上の児童が参加した。	3	体力テストの結果で3学年以上が敏捷性で市平均以上						
				2	80%以上の児童が参加した。	2	体力テストの結果で2学年以上が敏捷性で市平均以上						
				1	70%以上の児童が参加した。	1	体力テストの結果で2学年未満が敏捷性で市平均以上						
				4	全学級で記録と振り返りを行った。	4	児童アンケート「これまでの自分の生活を振り返り、よりよくなると思う」95%以上						
				3	90%以上の学級で記録と振り返りを行った。	3	児童アンケート「これまでの自分の生活を振り返り、よりよくなると思う」90%以上						
		児童の危険予知能力を育成し、危険を回避する能力を向上させる。	安全教育プログラム等を活用した安全指導を日常的に行う。また、事前に十分指導した上で、予告なしの避難訓練を毎月実施する。	4	全教員が日常的に指導を行った。	4	児童アンケート「安全や健康についての知しきを生活の中で生かしている」が90%以上						
				3	90%以上の教員が日常的に指導した。	3	児童アンケート「安全や健康についての知しきを生活の中で生かしている」が85%以上						
				2	80%以上の教員が日常的に指導した。	2	児童アンケート「安全や健康についての知しきを生活の中で生かしている」が80%以上						
				1	80%未満の教員が日常的に指導した。	1	児童アンケート「安全や健康についての知しきを生活の中で生かしている」が80%未満						
				4	全教員が話し合い活動を充実させた。	4	児童アンケート「話し合う時間」にすすんで参加している」が95%以上						
				3	90%以上の教員が話し合い活動を充実させた。	3	児童アンケート「話し合う時間」にすすんで参加している」が90%以上						
輝く未来	人間関係調整力と自己有用感をもち、積極的に他者と関わろうとする児童の育成	様々な集団活動に自主的・実践的に取り組み、互いのよさや可能性を發揮しながら自己実現を図ったり、より良い人間関係を形成したりできるようにする。	児童が自主的に活動できるように、「特別活動 大人の10の流儀」を意識し、学級会を軸とした話し合い活動を充実させる。	4	90%以上の教員が話し合い活動を充実させた。	4	児童アンケート「話し合う時間」にすすんで参加している」が95%以上						
				3	80%以上の教員が話し合い活動を充実させた。	3	児童アンケート「話し合う時間」にすすんで参加している」が90%以上						
				2	70%以上の教員が話し合い活動を充実させた。	2	児童アンケート「話し合う時間」にすすんで参加している」が80%以上						
				1	70%以上の教員が話し合い活動を充実させた。	1	児童アンケート「話し合う時間」にすすんで参加している」が80%未満						
				4	90%以上の児童が楽しく参加した。	4	児童アンケート「行事の満足度」が90%以上						
				3	80%以上の児童が楽しく参加した。	3	児童アンケート「行事の満足度」が80%以上						
		児童と教職員とが知恵を出し、工夫した学校行事を生み出し、児童に達成感や連帯感、自己有用感をもたせる。	児童会や実行委員会活動を活性化し、児童が主体的に取り組めるスポーツ及びアートフェスティバルの計画を立て、実施する。	4	70%以上の児童が楽しく参加した。	4	児童アンケート「行事の満足度」が70%以上						
				3	60%以上の児童が楽しく参加した。	3	児童アンケート「行事の満足度」が60%未満						
				4	全学年が体験的活動を実施した。	4	児童アンケート「学校の授業は分かりやすい」が98%以上						
				3	5つの学年が体験的活動を実施した。	3	児童アンケート「学校の授業は分かりやすい」が95%以上						
				2	4つの学年が体験的活動を実施した。	2	児童アンケート「学校の授業は分かりやすい」が90%以上						
				1	3つの学年が体験的活動を実施した。	1	児童アンケート「学校の授業は分かりやすい」が90%未満						

学校教育目標	◎すすんでする子 ○健康な子 ○考える子 ○協力する子	【目指す学校像】	子供一人一人の『幸せ(ウェルビーイング)』を具現化する学校+教職員一人一人の『働きがい』を具現化する学校
		【目指す児童・生徒像】	どの共同体でも力を発揮できる子(2030/2040年の日本を生きる子供たちへ) cfエージェンシー(社会を変革する力)の育成
		【目指す教師像】	子供の幸せを念頭に、教育者としての熱意とスキルを併せ持つ教師

R6 重点項目

領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策	
確かな学力	主体的な学びの喜びを通して、児童・教師が「光華遊学」の成果を実感する	知的好奇心の向上	・面白いを重視した授業づくり ・児童の視野を広げる工夫 ・対話的な学びの充実	4 概ね3項目に取り組むことができた 3 概ね2項目に取り組むことができた 2 概ね1項目に取り組むことができた 1 全く取り組めなかった		4 90%以上の児童が楽しく学校生活を過ごしていると回答 3 80%以上の児童が楽しく学校生活を過ごしていると回答 2 70%以上の児童が楽しく学校生活を過ごしていると回答 1 60%以上の児童が楽しく学校生活を過ごしていると回答		昭島市アンケート結果から評価				
		問題解決型学習の推進	・主体性を引き出す課題設定 ・解決の見通しを重視 ・適切なまとめ方・表現を重視	4 概ね3項目に取り組むことができた 3 概ね2項目に取り組むことができた 2 概ね1項目に取り組むことができた 1 全く取り組めなかった		4 90%以上の児童が授業にすすんで参加していると回答 3 80%以上の児童が授業にすすんで参加していると回答 2 70%以上の児童が授業にすすんで参加していると回答 1 60%以上の児童が授業にすすんで参加していると回答						
		教育DXの推進	・教師自身のスキル向上 ・情報リテラシー教育の推進 ・積極的なICT活用	4 概ね3項目に取り組むことができた 3 概ね2項目に取り組むことができた 2 概ね1項目に取り組むことができた 1 全く取り組めなかった		4 90%以上の児童がタブレットは役に立つと回答 3 80%以上の児童がタブレットは役に立つと回答 2 70%以上の児童がタブレットは役に立つと回答 1 60%以上の児童がタブレットは役に立つと回答						
豊かな心	多様な見方・考え方を働かせ、自ら楽しさ(ワクワク・ドキドキ)を見い出す心のクセを身に付ける	多様性を認め合う心の醸成	・聞く力・態度の育成 ・特別支援教育の推進 ・人権感覚の育成	4 概ね3項目に取り組むことができた 3 概ね2項目に取り組むことができた 2 概ね1項目に取り組むことができた 1 全く取り組めなかった		4 90%以上の児童が自分や友達を大切にしていると回答 3 80%以上の児童が自分や友達を大切にしていると回答 2 70%以上の児童が自分や友達を大切にしていると回答 1 60%以上の児童が自分や友達を大切にしていると回答		昭島市アンケート結果から評価				
		感性を豊かにする教育の充実	・読書活動の充実 ・個々の感性を重視 ・体験活動の充実	4 概ね3項目に取り組むことができた 3 概ね2項目に取り組むことができた 2 概ね1項目に取り組むことができた 1 全く取り組めなかった		4 90%以上の児童が「本や音楽や図工、自然が好きです」と回答 3 80%以上の児童が「本や音楽や図工、自然が好きです」と回答 2 70%以上の児童が「本や音楽や図工、自然が好きです」と回答 1 60%以上の児童が「本や音楽や図工、自然が好きです」と回答			学校独自のアンケート結果から			
		最後まであきらめない心(レジリエンス)の醸成	・児童主体の活動保証 ・形成的評価の充実 ・継続的な活動の工夫	4 概ね3項目に取り組むことができた 3 概ね2項目に取り組むことができた 2 概ね1項目に取り組むことができた 1 全く取り組めなかった		4 90%以上の児童が決めたことは最後まで頑張ることができると回答 3 80%以上の児童が決めたことは最後まで頑張ることができると回答 2 70%以上の児童が決めたことは最後まで頑張ることができると回答 1 60%以上の児童が決めたことは最後まで頑張ることができると回答						
健やかな体	自らの健康を保持・増進する生活習慣の定着	体を動かす喜びの実感(「遊び」の重視)	・体育の授業改善 ・元気アップガイドブック活用 ・元気アップタイムの推奨	4 概ね3項目に取り組むことができた 3 概ね2項目に取り組むことができた 2 概ね1項目に取り組むことができた 1 全く取り組めなかった		4 90%以上の児童が「学校で遊んだり体を動かしている」と回答 3 80%以上の児童が「学校で遊んだり体を動かしている」と回答 2 70%以上の児童が「学校で遊んだり体を動かしている」と回答 1 60%以上の児童が「学校で遊んだり体を動かしている」と回答		昭島市アンケート結果から評価				
		生活習慣の改善	・GM60の推進 ・SNSルールの推進 ・食育の推進	4 概ね3項目に取り組むことができた 3 概ね2項目に取り組むことができた 2 概ね1項目に取り組むことができた 1 全く取り組めなかった		4 90%以上の児童が「学校で学んだ安全や知識を生活に生かしている」と回答 3 80%以上の児童が「学校で学んだ安全や知識を生活に生かしている」と回答 2 70%以上の児童が「学校で学んだ安全や知識を生活に生かしている」と回答 1 60%以上の児童が「学校で学んだ安全や知識を生活に生かしている」と回答						
		自他の「性・生命」の尊重	・いじめ防止の推進 ・安全(交通・生活・災害)教育の推進 ・SOSの出し方教育推進	4 概ね3項目に取り組むことができた 3 概ね2項目に取り組むことができた 2 概ね1項目に取り組むことができた 1 全く取り組めなかった		4 90%以上の児童が「学校で落ち着いて安心して生活している」と回答 3 80%以上の児童が「学校で落ち着いて安心して生活している」と回答 2 70%以上の児童が「学校で落ち着いて安心して生活している」と回答 1 60%以上の児童が「学校で落ち着いて安心して生活している」と回答						
輝く未来	非認知能力の育成	「自己肯定感」の向上	・まずやってみる習慣の推奨 ・役に立つ喜びの重視 ・個のよさを伸ばす取組	4 概ね3項目に取り組むことができた 3 概ね2項目に取り組むことができた 2 概ね1項目に取り組むことができた 1 全く取り組めなかった		4 90%以上の児童が「自分にはいいところある」と回答 3 80%以上の児童が「自分にはいいところある」と回答 2 70%以上の児童が「自分にはいいところある」と回答 1 60%以上の児童が「自分にはいいところある」と回答		学校独自のアンケート結果から評価				
		他者や地域と「つながる」喜びの実感	・外部人材の活用 ・行事への主体的な参加 ・自ら企画する機会の保証	4 概ね3項目に取り組むことができた 3 概ね2項目に取り組むことができた 2 概ね1項目に取り組むことができた 1 全く取り組めなかった		4 90%以上の児童が「人や行事に関わるのは楽しい」と回答 3 80%以上の児童が「人や行事に関わるのは楽しい」と回答 2 70%以上の児童が「人や行事に関わるのは楽しい」と回答 1 60%以上の児童が「人や行事に関わるのは楽しい」と回答						
		自己を見つめる力の醸成	・キャリアルハムの活用 ・道徳の授業改善 ・学習の自己評価活動	4 概ね3項目に取り組むことができた 3 概ね2項目に取り組むことができた 2 概ね1項目に取り組むことができた 1 全く取り組めなかった		4 90%以上の児童が「自分の考えを大切にしている」と回答 3 80%以上の児童が「自分の考えを大切にしている」と回答 2 70%以上の児童が「自分の考えを大切にしている」と回答 1 60%以上の児童が「自分の考えを大切にしている」と回答						

学校教育目標	○よく考える子 ○思いやりのある子 ○たくましい子	ビジョン	【目指す学校像】	道徳教育を基盤として魅力ある学校をつくる。
			【目指す児童・生徒像】	「た・な・か」の子 【 た：たくましい子 な：仲良くする子 か：かしこく考える子 の：のびる子 こ：個性豊かな子 】
			【目指す教師像】	「た(Timemanagement=時間管理)・な(Navigator=誘導者・航海士)・か(kindness=思いやり・親切)」を意識し職務を励行する教師

領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策
確かな学力	基礎・基本を大切に分かり易く授業を実践し、主体的・意欲的に学び、基礎的な知識及び技能等を確実に習得させる。	個々の学習状況を正しく把握し、読む・書く・計算する力を身に付けさせる。	授業、ベーシックドリル、くじらーニング、日常のテスト、力試し、補習教室、宿題・家庭学習等の充実。	4 漢字、計算の定着が85%以上 3 漢字、計算の定着が82%以上 2 漢字、計算の定着が80%以上 1 漢字、計算の定着が80%未満		4 全国学力 国・算全国平均 -2.5pt 3 全国学力 国・算全国平均 -3.5pt以上 2 全国学力 国・算全国平均 -5.0pt以上 1 全国学力 国・算全国平均 -5.0pt未満					
		特別支援教育を充実させ、どの子にも分かりやすい授業を实践する。	市のユニバーサルデザイン(冊子)を活用するとともに、適切な環境づくりをする。	4 全校で冊子のUDチェック実施11回以上 3 全校で冊子のUDチェック実施10回以上 2 全校で冊子のUDチェック実施9回以上 1 全校で冊子のUDチェック実施年9回未満		4 児童評価 分かりやすい授業90%以上 3 児童評価 分かりやすい授業88%以上 2 児童評価 分かりやすい授業85%以上 1 児童評価 分かりやすい授業85%未満					
		学年相当の時間(学年×10分)に基づいた家庭学習を推進させる。	自己の課題克服 グッドライフ調査 宿題+自学自習	4 各学年家庭学習実施率91%以上 3 各学年家庭学習実施率86%以上 2 各学年家庭学習実施率81%以上 1 各学年家庭学習実施率81%未満		4 保護者評価「家庭学習習慣あり」65%以上 3 保護者評価「家庭学習習慣あり」60%以上 2 保護者評価「家庭学習習慣あり」55%以上 1 保護者評価「家庭学習習慣あり」55%未満					
豊かな心	人権意識を高め、自他を尊重する態度を醸成するとともに、集団の一員である自覚、規範意識等を育てる。	児童の道徳的実践力を高める。	道徳科の特質に即した授業を行うとともに、全教育活動を通して道徳教育を推進する。	4 特質に即した道徳授業を全学級で実施 3 特質に即した道徳授業を9割の学級で実施 2 特質に即した道徳授業を8割の学級で実施 1 特質に即した道徳授業を7割の学級で実施		4 思いやりの心で行動が85%以上 3 思いやりの心で行動が83%以上 2 思いやりの心で行動が80%以上 1 思いやりの心で行動が80%未満					
		教員の人権感覚を高め、児童が安心して生活できるようにする。	人権教育プログラムを活用して人権感覚チェックを年3回以上実施する。	4 年3回以上実施した 3 年2回実施した 2 年1回実施した 1 実施できなかった		4 児童評価「男女の別なく仲良く」88%以上 3 児童評価「男女の別なく仲良く」85%以上 2 児童評価「男女の別なく仲良く」82%以上 1 児童評価「男女の別なく仲良く」82%未満					
		学校生活をより楽しいものにする。	授業、特別活動、交流活動・交友活動の充実	4 楽しくする工夫をしている90%以上 3 楽しくする工夫をしているか85%以上 2 楽しくする工夫をしているか80%以上 1 楽しくする工夫をしているか80%未満		4 学校生活は楽しいが85%以上 3 学校生活は楽しいが83%以上 2 学校生活は楽しいが80%以上 1 学校生活は楽しいが80%未満					
健やかな体	日常的な運動を通して体力を向上させるとともに、健康で安全な生活のために必要な生活習慣や食習慣を身に付けさせる。	日常的な運動を通して体力を向上させる。	元気アップガイドブックを活用して体力向上のための体育的な活動を行う。	4 児童評価「運動に意欲的」の評価9割以上 3 児童評価「運動に意欲的」の評価8割以上 2 児童評価「運動に意欲的」の評価7割以上 1 児童評価「運動に意欲的」の評価7割未満		4 体力調査のA、B判定の児童が65%以上 3 体力調査のA、B判定の児童が60%以上 2 体力調査のA、B判定の児童が50%以上 1 体力調査のA、B判定の児童が50%未満					
		健康で安全な生活のために必要な生活習慣を身に付けさせる。	グッドモーニング60分(GM60分)を推進して健康教育を行う。	4 健康教育の授業を毎学期・年3回以上実施 3 健康教育の授業を年2回実施 2 健康教育の授業を年1回実施 1 健康教育の授業を未実施		4 GM60分達成率が全児童の85%以上 3 GM60分達成率が全児童の80%以上 2 GM60分達成率が全児童の75%以上 1 GM60分達成率が全児童の75%未満					
		健康で安全な生活のために必要な食習慣を身に付けさせる。	望ましい食習慣を身に付けるための給食やお弁当(食育)の日の指導を推進する。	4 食育の指導を毎学期・年3回以上実施 3 食育の指導を年2回実施 2 食育の指導を年1回実施 1 食育の指導を未実施		4 食育を活用しているが80%以上 3 食育を活用しているが78%以上 2 食育を活用しているが75%以上 1 食育を活用しているが75%未満					
輝く未来	地域・家庭との信頼関係を構築するとともに、児童の豊かな人間性や人間関係調整力を高める教育活動を推進する。	将来の夢を児童にもたせる。	6年職場体験、キャリアパスポート等を活用し職の理解を深める。	4 生き方について考える機会を与えた70%以上 3 生き方について考える機会を与えた60%以上 2 生き方について考える機会を与えた50%以上 1 生き方について考える機会を与えた50%未満		4 将来について考えることがある83%以上 3 将来について考えることがある80%以上 2 将来について考えることがある77%以上 1 将来について考えることがある77%未満					
		学校からの情報発信を積極的に行う。	学校便りの発行・メール配信を月1回以上、HPの更新を月3回以上行う。	4 8月を除く11ヶ月で実施 3 8月を除く10ヶ月で実施 2 8月を除く9ヶ月で実施 1 8月を除く8ヶ月で実施		4 保護者「分かりやすい情報発信」85%以上 3 保護者「分かりやすい情報発信」80%以上 2 保護者「分かりやすい情報発信」75%以上 1 保護者「分かりやすい情報発信」75%未満					
		集団の中での自分の役割を理解し、すすんで行動する力を育む。	リーダーシップやフォロワーシップについて理解させ、すすんで実践する児童を育てる。	4 集団内での役割の指導を全教員が実施 3 集団内での役割の指導を9割の教員が実施 2 集団内での役割の指導を8割の教員が実施 1 集団内での役割の指導を7割未満の教員が実施		4 生活をよりよくするが85%以上 3 生活をよりよくするが83%以上 2 生活をよりよくするが80%以上 1 生活をよりよくするが80%未満					

学校教育目標	○ やさしく(徳) ○ 強く(体) ○ よく考え(知) 手をつなぐ拝島の子	【目指す学校像】	○ 生き生きと学び、達成感を味わえる学校 ○ 安心して子供を預けられる信頼できる学校 ○ 働きがいのある学校(教職員にとって)□
		【目指す児童・生徒像】	○ 心身ともに健康な子 ○ 主体的・対話的で深い学びのできる子 ○ 互いに認め合い高め合う子
		【目指す教師像】	○ 教育公務員としての自覚をもち使命を果たすために、絶えず研究と修養に努め、児童のために誠心誠意職務に励む教師

領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策	
確かな学力	主体的・対話的で深い学びの視点による授業改善を行うとともに、「個別最適な学び」「協働的な学び」の実現を目指す。	授業改善、評価の工夫、カリキュラムマネジメントの実施と、個別最適な学び、協働的な学びを目指す指導への挑戦	・ゴール(評価)を明確にし、逆算的に計画する学習展開の工夫 ・児童の興味関心を高め、本時のめあてを学級で共有する主体的な学習 ・問題解決的、探究的な学習 ・児童の実態把握、学力調査の分析、授業改善プラン作成・実践	4 4項目全て取り組むことができた。		4 95%以上の児童が授業に進んで取り組むと回答						
			3 3項目は取り組むことができた		3 85%~95%未満の児童が授業に進んで取り組むと回答							
			2 2項目は取り組むことができた。		2 70%~85%未満の児童が授業に進んで取り組むと回答							
			1 1項目しか取り組めなかった。		1 70%未満の児童が授業に進んで取り組むと回答							
		基礎的基本的な学力を身に付けるための取り組みの提案と実施	・児童の実態に合った学習スタンダードの見直しと取組の徹底 ・「できた」が味わえる朝学習内容の工夫 ・進んで読みたいと思える読書の工夫 ・家庭学習の興味を考え、児童が自発的に行える内容の工夫と習慣付け	4 4項目全て取り組むことができた。		4 90%以上の児童が身に付いたと回答						
			3 3項目は取り組むことができた		3 80%~90%未満の児童が身に付いたと回答							
			2 2項目は取り組むことができた。		2 70%~80%未満の児童が身に付いたと回答							
			1 1項目しか取り組めなかった。		1 70%未満の児童が身に付いたと回答							
		特別支援教育の視点を生かした環境整備の充実、授業改善の推進	・個に応じた指導及びUDを意識した学習展開(焦点化・視覚化・共有化) ・UD意識した学習環境の整備(板書・見通し・掲示刺激・机上や持ち物の整理) ・指導の個別化、学習の個性化の実践 ・保護者との共通理解	4 4項目全て取り組むことができた。		4 95%以上の児童が授業に進んで取り組むと回答						
			3 3項目は取り組むことができた		3 85%~95%未満の児童が授業に進んで取り組むと回答							
			2 2項目は取り組むことができた。		2 70%~85%未満の児童が授業に進んで取り組むと回答							
			1 1項目しか取り組めなかった。		1 70%未満の児童が授業に進んで取り組むと回答							
豊かな心	自分も仲間も大切に、お互いのよさを認め合い、相手の思いやる心を育て、楽しい学校生活を実感し、自己の生き方を深めることのできる児童の育成を目指す。	道徳授業の質の向上を図り、自ら考え、日常生活に活かす、互いに認め合う児童の育成	・よさを認め、互いに必要とされる実態がもてる学級経営 ・価値を明確にした授業づくりと、自己と向き合う学習展開の工夫 ・年間計画の確実な実施 ・全教育活動に関連付けた指導	4 4項目全て取り組むことができた。		4 95%以上の児童が授業に進んで取り組むと回答						
			3 3項目は取り組むことができた		3 85%~95%未満の児童が授業に進んで取り組むと回答							
			2 2項目は取り組むことができた。		2 70%~85%未満の児童が授業に進んで取り組むと回答							
			1 1項目しか取り組めなかった。		1 70%未満の児童が授業に進んで取り組むと回答							
		いじめの未然防止と早期対応を推進し、問題行動に素早く気づき対応し、安心して通える学校運営の実現	・人権教育プログラム、いじめ防止対策の活用 ・生活指導連絡会での情報共有と、素早い対応、報連相の徹底 ・アンケートの実施と未然防止、早期対応 ・ふわふわ言葉、励まし言葉の日常的な取組	4 4項目全て取り組むことができた。		4 92%以上の児童が判断できた回答						
			3 3項目は取り組むことができた		3 82%~92%未満の児童が判断できた回答							
			2 2項目は取り組むことができた。		2 72%~82%未満の児童が判断できた回答							
			1 1項目しか取り組めなかった。		1 72%未満の児童が判断できた回答							
		人や自然、文化との関わりを通して、本物と出会い自尊心や自己有用感を高める実践への取組	・ゲストティーチャーによる学びの充実 ・実践、体験活動の充実 ・栽培体験活動の実施 ・縦割り班活動における関わりでの充実	4 4項目全て取り組むことができた。		4 90%以上の児童が体験学習は楽しいと回答						
			3 3項目は取り組むことができた		3 80%~90%未満の児童が体験学習は楽しいと回答							
			2 2項目は取り組むことができた。		2 70%~80%未満の児童が体験学習は楽しいと回答							
			1 1項目しか取り組めなかった。		1 70%未満の児童が体験学習は楽しいと回答							
健やかな体	健康で安全な生活について自ら考え、仲間と協力して実践しようとする、心身ともに健康でたくましい児童の育成を目指す。	心身ともに健康で、安全に過ごすために、自己管理のできるたくましい児童の育成	・アウトモニング60分の取組 ・ノーメディア習慣の取組 ・安全、防災教育の確実な実施とふりかえりの重視 ・チャレンジ精神、ルール尊重、ファエプレーの大切さを指導・実践	4 4項目全て取り組むことができた。		4 90%以上の児童が安全健康についていかにと回答						
			3 3項目は取り組むことができた		3 80%~90%未満の児童が安全健康についていかにと回答							
			2 2項目は取り組むことができた。		2 70%~80%未満の児童が安全健康についていかにと回答							
			1 1項目しか取り組めなかった。		1 70%未満の児童が安全健康についていかにと回答							
		一人一人が自らの体力を知り、自分に合った方法を考え、体力向上に取り組む児童の育成	・めあてが明確な体育学習の展開 ・元氣アップガイドブックを活用した、体力運動能力調査の分析と、具体的な取組の推進 ・体育朝会での取組と授業での活用 ・挿一小ピクでの運動遊びの体験から、遊びの日常化への工夫(学活含む)	4 4項目全て取り組むことができた。		4 90%以上の児童が体力付いていると回答						
			3 3項目は取り組むことができた		3 80%~90%未満の児童が体力付いていると回答							
			2 2項目は取り組むことができた。		2 70%~80%未満の児童が体力付いていると回答							
			1 1項目しか取り組めなかった。		1 70%未満の児童が体力付いていると回答							
		食の大切さや健康について学び、自らの健康について考えることのできる取組	・お弁当の日に自ら栄養について考えたり、食の大切さについて考えたりする活動 ・保健指導から、自分の体についての学び ・健康教育(性犯罪等)への取組 ・外部人材を招聘しての交流や講話や実技指導の取組	4 4項目全て取り組むことができた。		4 90%以上の児童がお弁当の日工夫できた回答						
			3 3項目は取り組むことができた		3 80%~90%未満の児童がお弁当の日工夫できた回答							
			2 2項目は取り組むことができた。		2 70%~80%未満の児童がお弁当の日工夫できた回答							
			1 1項目しか取り組めなかった。		1 70%未満の児童がお弁当の日工夫できた回答							
輝く未来	自分のよさを見付け、仲間と協力して活動し、苦手なことにも失敗を恐れず取り組み、役に立つ喜びを自信につなげ自己肯定感を高め、未来に向けて夢と希望をもち実現しようとする児童の育成を目指す。	学級会活動をはじめ、全教育活動における、キャリア教育の充実	・学級活動を通して学校生活を仲間と高める活動への取組 ・係活動、委員会活動、クラブ活動、縦割り班活動の自主的な取組 ・自己肯定感、有用感を高める活動の工夫 ・年間指導計画に応じた、キャリア教育実践の充実(キャリアパスの活用)	4 4項目全て取り組むことができた。		4 90%以上の児童が自分の得意なことを考えたと回答						
			3 3項目は取り組むことができた		3 80%~90%未満の児童が自分の得意なことを考えたと回答							
			2 2項目は取り組むことができた。		2 70%~80%未満の児童が自分の得意なことを考えたと回答							
			1 1項目しか取り組めなかった。		1 70%未満の児童が自分の得意なことを考えたと回答							
		ICT機器の柔軟な活用の推進と、ネットのかかわり方を学び、正しく使えるようにする取組	・タブレット端末の積極的な活用 ・デジタル教科書や、インターネット等からの情報・資料の活用 ・情報モラル教育の充実 ・SNS学校ルールの見直しと周知を行い、適切なデジタルデバイス利用の推進	4 4項目全て取り組むことができた。		4 90%以上の児童が自分の得意なことを考えたと回答						
			3 3項目は取り組むことができた		3 80%~90%未満の児童が自分の得意なことを考えたと回答							
			2 2項目は取り組むことができた。		2 70%~80%未満の児童が自分の得意なことを考えたと回答							
			1 1項目しか取り組めなかった。		1 70%未満の児童が自分の得意なことを考えたと回答							
		地域のかかわり、世界のかかわり、持続可能な社会づくりを意識した取組	・地域人材や環境を活用した学習の充実 ・生活科見学、社会科見学、校外学習を通じた学びを学習に生かす ・総合的な学習の時間の充実 ・環境をはじめとするSDG'sを意識した活動	4 4項目全て取り組むことができた。		4 92%以上の児童が地域の方とのふれあいがと回答						
			3 3項目は取り組むことができた		3 82%~92%未満の児童が地域の方とのふれあいがと回答							
			2 2項目は取り組むことができた。		2 72%~82%未満の児童が地域の方とのふれあいがと回答							
			1 1項目しか取り組めなかった。		1 72%未満の児童が地域の方とのふれあいがと回答							

学校教育目標	○よく考える子(知) ○心ゆたかな子(情) ○元気な子(意)(体)	ビジョン	【目指す学校像】	○「子供の成長」を教育活動の中核に置き、連携・協働する学校 ○「チーム」一丸で教育活動を推進する学校
			【目指す児童・生徒像】	○自らの人生(運命)を自らの力で切り拓き、これからの社会の創造を担える児童～グローバルに考え、ローカルに実践する子～
			【目指す教師像】	○「チーム拝二」の一員として、自らすすんで学び、高め合い、協働して職務を遂行する教師 ○子供のよさや可能性を伸ばせる教師集団

領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策	
確かな学力	(知) 自ら学び考え判断し、協働して問題を解決することができる児童の育成	日々の授業を充実させ、全国学力・学習状況調査の平均正答率の引き上げを図る。	「拝二小授業力スタンダード20ver.4」を基に、児童が自身の学びの成果を実感できるように指導する。	4 8割以上の教職員が、「授業力スタンダード」に基づく指導を行った。		4 学力調査の平均正答率が国比OP						
			3 7割以上の教職員が、「授業力スタンダード」に基づく指導を行った。	3 学力調査の平均正答率が国比-1P								
			2 6割以上の教職員が、「授業力スタンダード」に基づく指導を行った。	2 学力調査の平均正答率が国比-2P								
			1 6割未満の教職員が、「授業力スタンダード」に基づく指導を行った。	1 学力調査の平均正答率が都比-3P								
		言葉の力で獲得した知識を生かして自分の思いを論理的に表現できる児童を育成する。	指導計画のPDCAサイクル化を図り、児童が考えを深め、表現する場を意図的・計画的に設定する。	4 8割以上の教職員が、児童が考えを深め表現する場の設定を計画的に行った。		4 「思考・判断・表現」の評価B以上70%以上						
			3 7割以上の教職員が、児童が考えを深め表現する場の設定を計画的に行った。	3 「思考・判断・表現」の評価B以上60%以上								
			2 6割以上の教職員が、児童が考えを深め表現する場の設定を計画的に行った。	2 「思考・判断・表現」の評価B以上50%以上								
			1 6割未満の教職員が、児童が考えを深め表現する場の設定を計画的に行った。	1 「思考・判断・表現」の評価B以上50%未満								
		学んだことを日常生活に生かしたり、自分の周りの社会に役立てたりしようとする児童を育成する。	昭島市民科、各教科、特別活動、「特別の教科 道徳」を中心に、教育活動全体を通して児童がセルフモニタリング及びセルフコントロールする場を設定する。	4 8割以上の教職員が、授業実践における振り返りを行った。		4 授業で学んだことを生活や社会に生かそうとする児童70%以上						
			3 7割以上の教職員が、授業実践における振り返りを行った。	3 授業で学んだことを生活や社会に生かそうとする児童60%以上								
			2 6割以上の教職員が、授業実践における振り返りを行った。	2 授業で学んだことを生活や社会に生かそうとする児童50%以上								
			1 6割未満の教職員が、授業実践における振り返りを行った。	1 授業で学んだことを生活や社会に生かそうとする児童50%未満								
豊かな心	(情) 自らの良さを見つめ、他者を尊重し、共により良く生きようとする児童の育成	不登校児童を減らし、全ての児童が安心して登校できる学校にする。	①不登校アセスメントの実施 ②のびのびルームの効果的な活用③温かい学級づくりによる不登校の未然防止	4 8割以上の教職員が、不登校対策に取り組んだ。		4 不登校の出現回数2割減少						
			3 7割以上の教職員が、不登校対策に取り組んだ。	3 不登校の出現回数1割減少								
			2 6割以上の教職員が、不登校対策に取り組んだ。	2 不登校の出現回数増減なし								
			1 6割未満の教職員が、不登校対策に取り組んだ。	1 不登校の出現回数増加								
		学校生活を自ら創り上げる児童を育成する。	「拝二小学級力スタンダードver.2」を基に、児童自らが学校生活を築けるように指導する。児童会選挙の実施。	4 8割以上の教職員が、「学級力スタンダード」に基づく指導を行った。		4 自分たちで学級・学校を創っていると感じる児童70%以上						
			3 7割以上の教職員が、「学級力スタンダード」に基づく指導を行った。	3 自分たちで学級・学校を創っていると感じる児童60%以上								
			2 6割以上の教職員が、「学級力スタンダード」に基づく指導を行った。	2 自分たちで学級・学校を創っていると感じる児童50%以上								
			1 6割未満の教職員が、「学級力スタンダード」に基づく指導を行った。	1 自分たちで学級・学校を創っていると感じる児童50%未満								
		学校の決まりを守る風土を創り上げる。	学校の決まりの意味・意義を理解させ、守らせる。	4 8割以上の教職員が共通理解をもって、生活指導に取り組んだ。		4 学校のきまりを守っていると実感する児童70%以上						
			3 7割以上の教職員が共通理解をもって、生活指導に取り組んだ。	3 学校のきまりを守っていると実感する児童60%以上								
			2 6割以上の教職員が共通理解をもって、生活指導に取り組んだ。	2 学校のきまりを守っていると実感する児童50%以上								
			1 6割未満の教職員が共通理解をもって、生活指導に取り組んだ。	1 学校のきまりを守っていると実感する児童50%未満								
健やかな体	(体) 自らすすんで心と体をきたえ、たくましく生きる児童の育成	日々の授業の充実を基に、体育の授業が好きな児童を増やす。	「拝二小授業力スタンダード体育編ver.2」を共通実践し、体育科の授業の充実を図る。コオーディネーショントレーニングの実施。	4 8割以上の教職員が、「授業力スタンダード体育編」に基づく指導を行った。		4 運動が好きになったと実感できる児童70%以上						
			3 7割以上の教職員が、「授業力スタンダード体育編」に基づく指導を行った。	3 運動が好きになったと実感できる児童60%以上								
			2 6割以上の教職員が、「授業力スタンダード体育編」に基づく指導を行った。	2 運動が好きになったと実感できる児童50%以上								
			1 6割未満の教職員が、「授業力スタンダード体育編」に基づく指導を行った。	1 運動が好きになったと実感できる児童50%未満								
		児童の課題に応じた様々な運動に親しませる場を設定し、運動能力の向上を図る。	体力調査(プレ・ポストテスト)の結果に基づく課題分析・解決策の共通理解と共通実践をする。体力向上旬間を設定する。	4 8割以上の教職員が、体力向上のための取組を実施した。		4 ITスコアを都平均以上にする。						
			3 7割以上の教職員が、体力向上のための取組を実施した。	3 ITスコアを都平均より-1%にとどめる。								
			2 6割以上の教職員が、体力向上のための取組を実施した。	2 ITスコアを都平均より-2%にとどめる。								
			1 6割未満の教職員が、体力向上のための取組を実施した。	1 ITスコアを都平均より-2%にとどめる。								
		家庭と連携して、児童の基本的な生活習慣の向上を目指す。	「元気アップガイドブック」を計画的に活用し、児童自身が生活改善の大切さを意識し実感できるようにする。	4 8割以上の児童が、「元気アップガイドブック」を計画的に活用した。		4 生活改善を実感する児童70%以上						
			3 7割以上の児童が、「元気アップガイドブック」を計画的に活用した。	3 生活改善を実感する児童60%以上								
			2 6割以上の児童が、「元気アップガイドブック」を計画的に活用した。	2 生活改善を実感する児童50%以上								
			1 6割未満の児童が、「元気アップガイドブック」を計画的に活用した。	1 生活改善を実感する児童50%未満								
輝く未来	(意) 自らすすんで挑戦し、最後までやり遂げることができる児童の育成	昭島市民科や各教科等の充実を図り、地域を担う市民としての愛着を育てる。	地域に根差した昭島市民科や各教科等の授業を展開する。	4 8割以上の教職員が、市民科の授業実践に取り組んだ。		4 地域に愛着をもつ児童70%以上						
			3 7割以上の教職員が、市民科の授業実践に取り組んだ。	3 地域に愛着をもつ児童60%以上								
			2 6割以上の教職員が、市民科の授業実践に取り組んだ。	2 地域に愛着をもつ児童50%以上								
			1 6割未満の教職員が、市民科の授業実践に取り組んだ。	1 地域に愛着をもつ児童50%未満								
		●SDGsの達成のために社会を変革する主体者として、家庭生活から変えていこうとする態度を育てる。 ●地域人材を活用し、人との関わりの中で学ぶ機会を充実させる。	●SDGsの達成のために、家庭生活を実際に改善しようとする行動に移すことができる児童を育成する。 ●地域人材を活用した体験活動を実施し、社会貢献しようとする児童を育成する。	4 8割以上の教職員が、地域人材を活用した体験活動を実施した。		4 社会貢献しようとする児童70%以上						
			3 7割以上の教職員が、地域人材を活用した体験活動を実施した。	3 社会貢献しようとする児童60%以上								
			2 6割以上の教職員が、地域人材を活用した体験活動を実施した。	2 社会貢献しようとする児童50%以上								
			1 6割未満の教職員が、地域人材を活用した体験活動を実施した。	1 社会貢献しようとする児童50%未満								
		社会の多様な課題への関心・意欲を高め、自らの将来について考える児童を育成する。	昭島版「キャリアアルバム」を活用して、児童が自らの将来に、夢をもてるように指導する。	4 8割以上の教職員が、キャリアアルバムを活用した指導を行った。		4 将来への夢や希望がもてたと実感できる児童70%以上						
			3 7割以上の教職員が、キャリアアルバムを活用した指導を行った。	3 将来への夢や希望がもてたと実感できる児童60%以上								
			2 6割以上の教職員が、キャリアアルバムを活用した指導を行った。	2 将来への夢や希望がもてたと実感できる児童50%以上								
			1 6割未満の教職員が、キャリアアルバムを活用した指導を行った。	1 将来への夢や希望がもてたと実感できる児童50%未満								

学校教育目標	○かしこく ◎やさしく ○つよく	ビジョン	【目指す学校像】	・子供にとって安全・安心の学校 ・保護者や地域とともに子供を育てる学校 ・教職員が互いに高め合う学校
			【目指す児童・生徒像】	・よく考え工夫する児童 ・相手のことを考え、助け合う児童 ・明るく元気な児童
			【目指す教師像】	・質の高い指導を創造できる教師 ・児童同士、教師同士が響き合い、感動とあこがれを創出できる教師 ・児童、保護者、地域に貢献する仕事であることを自覚する教師

領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策				
確かな学力	学校全体として組織的・計画的に、確かな学力を育みます	学習状況を把握し、「主体的・対話的で深い学び」の指導を充実、学力向上を図る。	①「問題解決の型」の徹底 ②「学習スタンダード」の徹底 ③朝学習の週5回実施 ④ICT機器の活用	4 全ての教員が、児童が主体的な授業を行った。 3 8割以上の教員が、児童が主体的な授業を行った。 2 7割の教員が、児童が主体的な授業を行った。 1 児童が主体的な授業を行った教員が7割以下であった。		4 児童アンケートで「主体的に学習した」が8割以上 3 児童アンケートで「主体的に学習した」が7割以上 2 児童アンケートで「主体的に学習した」が6割以上 1 児童アンケートで「主体的に学習した」が6割未満									
			授業のユニバーサルデザイン化を推進し、学習意欲と学力の向上を図る。	①子どもにやさしい教室環境 ②子どもにやさしい学習環境 ③子どもにやさしい授業 ④本領発揮プログラムの活用	4 ユニバーサルデザインチェックリストの全てに取り組んだ。 3 ユニバーサルデザインチェックリストの8割以上に取り組んだ。 2 ユニバーサルデザインチェックリストの7割以上に取り組んだ。 1 ユニバーサルデザインチェックリストの7割以下にしか取り組めなかった。		4 児童アンケートで「分かりやすい」が8割以上 3 児童アンケートで「分かりやすい」が7割以上 2 児童アンケートで「分かりやすい」が6割以上 1 児童アンケートで「分かりやすい」が6割未満								
				タブレットPCの積極的な活用とキャリア教育の推進	①プログラミング学習に関わる授業(年5回以上) ②キャリア・パスポートに関わる指導(年3回) ③オンライン授業(年3回)	4 全ての教員が、タブレットを用いたオンライン授業を行うことができる。 3 8割の教員が、タブレットを用いたオンライン授業を行うことができる。 2 7割の教員が、タブレットを用いたオンライン授業を行うことができる。 1 6割の教員が、タブレットを用いたオンライン授業を行うことができる。		4 児童アンケートでオンライン授業への肯定的な評価が8割以上 3 児童アンケートでオンライン授業への肯定的な評価が7割以上 2 児童アンケートでオンライン授業への肯定的な評価が6割以上 1 児童アンケートでオンライン授業への肯定的な評価が6割未満							
		児童の自己肯定感を高め、個々の良さを発揮できるように、学級活動を実施する。			①校内研究の推進 ②生活スタンダードの徹底 ③QUテストの活用	4 全ての教員が、生活スタンダードやガイドラインに基づく指導を行った。 3 8割の教員が、生活スタンダードやガイドラインに基づく指導を行った。 2 7割の教員が、生活スタンダードやガイドラインに基づく指導を行った。 1 6割の教員が、生活スタンダードやガイドラインに基づく指導を行った。		4 QUの結果で安定感のある学級が3割以上 3 QUの結果で安定感のある学級が2割以上 2 QUの結果で安定感のある学級が1割以上 1 QUの結果で安定感のある学級が1割未満							
			教育活動全体を通して、道徳的实践力を身に付けさせる。			①道徳授業地区公開講座 ②評価に関わるOJT研修 ③児童が考え議論する道徳	4 全ての教員が、道徳の時間の指導を改善した。 3 8割の教員が、道徳の時間の指導を改善した。 2 7割の教員が、道徳の時間の指導を改善した。 1 6割の教員が、道徳の時間の指導を改善した。		4 児童アンケートで「学校が楽しい」が8割以上 3 児童アンケートで「学校が楽しい」が7割以上 2 児童アンケートで「学校が楽しい」が6割以上 1 児童アンケートで「学校が楽しい」が6割未満						
				学校図書館を活用し、読書の啓発に取り組む。		①学校図書館の利用(週1回) ②読書旬間の実施(年3回) ③人権教育を推進する図書購入	4 全ての学級が、週1回以上学校図書館を利用した。 3 8割の学級が、週1回以上学校図書館を利用した。 2 7割の学級が、週1回以上学校図書館を利用した。 1 6割の学級が、週1回以上学校図書館を利用した。		4 8割の児童が年間20冊以上の本を借りた。 3 7割の児童が年間20冊以上の本を借りた。 2 6割の児童が年間20冊以上の本を借りた。 1 年間20冊以上の本を借りた児童が6割未満						
		豊かな心			学校全体として組織的・計画的に、豊かな心を醸成します	運動能力テストの結果を基に作成する体力向上プランに基づき、系統的な指導を進める。	①体力向上プラン(9月改訂) ②コロナ禍でも可能な運動の推進 ③運動週間(年3回)	4 全教員が体力向上プランを活用した指導を行った。 3 8割以上の教員がプランを活用した指導を行った。 2 7割以上の教員がプランを活用した指導を行った。 1 7割未満の教員がプランを活用した指導を行った。		4 児童アンケートで「運動が楽しい」が8割以上 3 児童アンケートで「運動が楽しい」が7割以上 2 児童アンケートで「運動が楽しい」が6割以上 1 児童アンケートで「運動が楽しい」が6割未満					
			日常的な運動習慣の確立を図り、健康な生活を目指す。				①元気アップカードの活用 ②家庭への啓発活動(毎月) ③学校保健委員会(年1回)	4 全教員が元気アップカードを活用した指導を行った。 3 9割以上の教員が元気アップカードを活用した指導を行った。 2 8割以上の教員が元気アップカードを活用した指導を行った。 1 8割未満の教員が元気アップカードを活用した指導を行った。		4 8割以上の児童が目標を達成している。 3 7割以上の児童が目標を達成している。 2 6割以上の児童が目標を達成している。 1 6割未満の児童が目標を達成している。					
				安全教育を系統的に進め、自分の命を自分で守る力を育む。			①安全教育全体計画改訂(8月・2月) ②避難訓練の改善(年11回) ③安全指導日の指導(年11回)	4 全ての教員が、安全指導を計画的に行った。 3 9割の教員が、安全指導を計画的に行った。 2 8割の教員が、安全指導を計画的に行った。 1 7割の教員が、安全指導を計画的に行った。		4 保護者による学校評価(関係項目)肯定的評価9割以上 3 保護者による学校評価(関係項目)肯定的評価8割以上 2 保護者による学校評価(関係項目)肯定的評価7割以上 1 保護者による学校評価(関係項目)肯定的評価7割以下					
健やかな体	学校全体として、組織的・計画的に、健康を保持し、自ら体力を高める態度を育みます					話し合い活動の指導を計画的に進め、自分たちの問題を自力で解決する力を育む。	①学級会活動(年10回以上) ②課題解決型学習の重視 ③タブレットPCの活用	4 全ての学級が、タブレットPCでの意見共有を行った。 3 8割以上の学級が、タブレットPCでの意見共有を行った。 2 6割以上の学級が、タブレットPCでの意見共有を行った。 1 タブレットPCでの意見共有を行った学級が6割未満。		4 児童アンケートで「話し合い活動が楽しい」が8割以上 3 児童アンケートで「話し合い活動が楽しい」が7割以上 2 児童アンケートで「話し合い活動が楽しい」が6割以上 1 児童アンケートで「話し合い活動が楽しい」が6割未満					
			教育活動を通して外部人材と交流体験できるようにする。				①各学年で外部人材を活用した授業を計画 ②学年の発達段階に応じた実現可能な交流プログラムの作成	4 各学年で外部人材を活用した授業を実施した。 3 9割以上の学年で外部人材を活用した授業を実施した。 2 8割以上の学年で外部人材を活用した授業を実施した。 1 外部人材を活用した授業を実施した学年が6割未満。		4 保護者による学校評価(関係項目)肯定的評価9割以上 3 保護者による学校評価(関係項目)肯定的評価8割以上 2 保護者による学校評価(関係項目)肯定的評価7割以上 1 保護者による学校評価(関係項目)肯定的評価7割以下					
				保護者や地域と連携し、行事活動を充実させる。			①PTAや地域と連携して運動会・学習発表会・研究発表会を行う。 ②PTAや地域と連携し安全見守り活動の強化を行う。	4 PTAや地域と年4回以上の連携ができた。 3 PTAや地域と年3回以上の連携ができた。 2 PTAや地域と年2回以上の連携ができた。 1 PTAや地域との連携は年2回以下だった。		4 保護者による学校評価(関係項目)肯定的評価8割以上 3 保護者による学校評価(関係項目)肯定的評価7割以上 2 保護者による学校評価(関係項目)肯定的評価6割以上 1 保護者による学校評価(関係項目)肯定的評価6割以下					
						輝く未来	学校全体として組織的・計画的に、将来を見つめ社会を担う力を育てます	話し合い活動の指導を計画的に進め、自分たちの問題を自力で解決する力を育む。	①学級会活動(年10回以上) ②課題解決型学習の重視 ③タブレットPCの活用	4 全ての学級が、タブレットPCでの意見共有を行った。 3 8割以上の学級が、タブレットPCでの意見共有を行った。 2 6割以上の学級が、タブレットPCでの意見共有を行った。 1 タブレットPCでの意見共有を行った学級が6割未満。		4 児童アンケートで「話し合い活動が楽しい」が8割以上 3 児童アンケートで「話し合い活動が楽しい」が7割以上 2 児童アンケートで「話し合い活動が楽しい」が6割以上 1 児童アンケートで「話し合い活動が楽しい」が6割未満			
			教育活動を通して外部人材と交流体験できるようにする。						①各学年で外部人材を活用した授業を計画 ②学年の発達段階に応じた実現可能な交流プログラムの作成	4 各学年で外部人材を活用した授業を実施した。 3 9割以上の学年で外部人材を活用した授業を実施した。 2 8割以上の学年で外部人材を活用した授業を実施した。 1 外部人材を活用した授業を実施した学年が6割未満。		4 保護者による学校評価(関係項目)肯定的評価9割以上 3 保護者による学校評価(関係項目)肯定的評価8割以上 2 保護者による学校評価(関係項目)肯定的評価7割以上 1 保護者による学校評価(関係項目)肯定的評価7割以下			
				保護者や地域と連携し、行事活動を充実させる。					①PTAや地域と連携して運動会・学習発表会・研究発表会を行う。 ②PTAや地域と連携し安全見守り活動の強化を行う。	4 PTAや地域と年4回以上の連携ができた。 3 PTAや地域と年3回以上の連携ができた。 2 PTAや地域と年2回以上の連携ができた。 1 PTAや地域との連携は年2回以下だった。		4 保護者による学校評価(関係項目)肯定的評価8割以上 3 保護者による学校評価(関係項目)肯定的評価7割以上 2 保護者による学校評価(関係項目)肯定的評価6割以上 1 保護者による学校評価(関係項目)肯定的評価6割以下			

学校教育目標	夢への挑戦 ～ 広げよう可能性 高めよう創造性 ～	【目指す学校像】	①知・徳・体をバランスよく育む学校 ②落ち着いた中にも活力がある学校 ③環境が整った安心・安全な学校 ④家庭・地域とのつながりを大切にしている学校
		【目指す児童・生徒像】	①自ら考え深く学ぶ生徒 ②自他ともに大切にできる生徒 ③やり抜くことができるたくましい生徒
		【目指す教師像】	①豊かな人間性を備え、生徒の範となれる教師 ②生徒と正面から向き合い、信頼される教師 ③「できて・わかって・楽しい」授業ができる教師 ④組織の一員として学校運営に貢献できる教師

領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策	
確かな学力	基礎的・基本的な知識や技能の習得、思考力・判断力・表現力等を育成し、主体的に学ぶ態度の育成と学びに向かう力と人間性等を養う。	目標の明示と振り返りの活用から指導と評価の一体化による学力を定着させる。	学習目標を提示し振り返りを工夫することで、学習理解を深める。	4 毎時間目標を明示し、振り返りを工夫した。	4	「授業をよく理解できた」と答える生徒が90%以上						
				3 8割以上の授業で目標を明示し、振り返りを工夫した。	3	「授業をよく理解できた」と答える生徒が70%以上						
				2 5割以上の授業で目標を明示し、振り返りを工夫した。	2	「授業をよく理解できた」と答える生徒が50%以上						
		思考力・判断力・表現力の育成を図り、自分の考えを他者に伝える力を育む。	書くこと、発表することやICTの活用により、表現力を意識した授業を実践する。	4 9割以上の授業で表現力指導を徹底した。	4	「表現力がついた」と答える生徒が90%以上						
				3 8割以上の授業で表現力指導を徹底した。	3	「表現力がついた」と答える生徒が70%以上						
				2 5割以上の授業で表現力指導を徹底した。	2	「表現力がついた」と答える生徒が50%以上						
		主体的に学習に取り組む態度の育成と家庭学習の定着を図る。	シラバスの活用と各教科での学習課題の明確な提示から、適切な評価・評定を行う。	4 学習習慣定着のための指導を確実に実施した。	4	「家庭学習の時間が「4時間以上」が最も多い						
				3 学習習慣定着のための指導を概ね実施した。	3	「家庭学習の時間が「4時間未満」が最も多い						
				2 学習習慣定着のための指導を時々実施した。	2	「家庭学習の時間が「3時間未満」が最も多い						
豊かな心	全教育活動を通じて、人権教育・心の教育を推進し、自立した人間として、他者とともによりよく生きるための基盤となる豊かな人間性を育む。	全教育活動を通じて生徒の努力を認め、自己有用感を育み自尊感情を高める。	「勇気づけ言葉」を活用し、頑張らせ、勇気づけ、ほめる指導を推進する。	4 勇気づけ、ほめる指導の実践が定着した。	4	「教員は良さを認め伸ばしてくれると感じる生徒が80%以上						
				3 共感し、認めることで助言につながった。	3	「教員は良さを認め伸ばしてくれると感じる生徒が60%以上						
				2 共感し、認める努力をした。	2	「教員は良さを認め伸ばしてくれると感じる生徒が40%以上						
		考え、議論する道徳授業を実践し、よりよく生きる心を育てる。	①内容項目を理解し、議論や発問の工夫を行う。②全教科で内容項目に関連付けて適切に指導する。	4 様々な場面で内容項目を価値付けて指導した。	4	道徳の授業で自分の考えを深められた生徒が80%以上。						
				3 発問を工夫することで内容項目を深められた。	3	道徳の授業で自分の考えを深められた生徒が60%以上。						
				2 教材研究で内容項目を理解したが十分深められなかった。	2	道徳の授業で自分の考えを深められた生徒が40%以上。						
		未然防止に努めながら、いじめへの適切な対応と個に応じた不登校対応を充実させる。	安全集会を実施して未然防止の指導を行う。また、毎月の生活アンケートを実施するとともに校内委員会を定期実施する。	4 いじめ問題にすぐに対応し、早期解決を図った。	4	「落ち着いた安心して学校生活ができている生徒が90%以上						
				3 いじめ問題にすぐに対応したが、対応は継続している。	3	「落ち着いた安心して学校生活ができている生徒が80%以上						
				2 いじめ問題の対応が遅れたが、解決できた。	2	「落ち着いた安心して学校生活ができている生徒が70%以上						
健やかな体	心身共にたくましく、健やかな生徒の育成を図り、健康・安全で活力ある生活を送るための基礎を培う。	体育的な活動を効果的に実施し、体力向上と生涯にわたってスポーツに親しむ態度を育成する。	体力向上の個人目標を設定する。保体授業TTや男女共習授業と部活動を充実する。	4 生徒の目標達成のために積極的に支援した。	4	「体力テストで全学年が都標準以上						
				3 生徒の目標達成のために支援した。	3	「体力テストで2つの学年が都標準以上						
				2 生徒の目標を理解し助言した。	2	「体力テストで1つの学年が都標準以上						
		未然防止を重視し、安全教育・防災教育の推進と命を大切にしている心の教育を推進する。	安全指導を計画的に実施する。自殺予防教育・がん教育・薬物乱用防止教育を実施する。	4 命の大切さと安全・安心な学校生活を指導・徹底している。	4	「命の大切さを理解し、自助・公助の精神が身に付いた。						
				3 命の大切さと安全・安心な学校生活を指導している。	3	「命の大切さを理解し、自助・公助の大切さを理解した。						
				2 命の大切さと安全・安心な学校生活を心がけている。	2	「命の大切さを理解し、自助を心がけている。						
		SNSの活用について考え、規則正しい生活を送らせる。	SNS学校ルールの定着及び家庭ルールの作成・定着を徹底する。	4 SNSルールの徹底を家庭に指導した。	4	「SNSルールが定着した生徒が80%以上						
				3 SNSルールを学級で指導・徹底した。	3	「SNSルールが定着した生徒が50%以上						
				2 SNS家庭ルールの作成を家庭に指導した。	2	「SNSルールを意識している生徒が50%以上						
輝く未来	学習や生活の基盤として、教師と生徒との信頼関係を築き、生徒一人一人に応じた指導・支援を図る。	年間を通じた計画的な教育相談面談の実施と、教師によるカウンセリングを充実させる。	面談指導の計画的な実施や、個々の課題解決を支援する個別の会話・面談や言葉かけを行う。	4 定期面談・随時面談・QUのすべてを活用、実施した。	4	「先生に相談すると安心できる生徒が80%以上。						
				3 定期面談・随時面談を実施した。	3	「先生に相談すると安心できる生徒が60%以上。						
				2 定期面談のみ実施した。	2	「先生に相談すると安心できる生徒が40%以上。						
		キャリア教育の計画的な推進と夢の実現に向けて努力する生徒を育成する。	適切な進路指導計画の作成と計画的な推進を図り、キャリアアルバムを活用する。	4 キャリア教育を通して夢を実現する計画づくり指導した。	4	「将来の夢に向けて具体的に計画を作成した。						
				3 計画的キャリア教育で将来の自分を考えさせた。	3	「将来の夢について考え、目標を持つことができた。						
				2 キャリア教育を通して自己の良さや適性を考えさせた。	2	「将来の夢を自分で考えることができた。						
		生徒理解に基づき、個への配慮が必要な生徒への支援を充実させる。	特別な支援を要する生徒への適切な対応を行い、保護者との連携と合理的配慮の推進を図る。	4 日常的な特別支援教育の啓発と推進を実践した。	4	「先生は一人一人のことを考えてくれると感じる生徒が80%以上。						
				3 日常的な特別支援教育を理解し実践した。	3	「先生は一人一人のことを考えてくれると感じる生徒が60%以上。						
				2 日常的な特別支援教育を理解した。	2	「先生は一人一人のことを考えてくれると感じる生徒が40%以上。						

学校教育目標	○希望 ○創造 ○潤い	【目指す学校像】	○生徒が生き生きとして、自尊感情を高め、心を開ける学校○生徒・保護者・地域の願いに応え、ともに歩む学校○生徒・保護者・地域・教職員が安心でき、信頼し、躍進できる学校
		【目指す児童・生徒像】	○自ら学び、自ら考える生徒 ○他を思いやり、支え合う生徒 ○責任をもち、やりぬく生徒
		【目指す教師像】	○生徒を第一に考え、生徒の良さを伸ばす教師○自己の資質向上と健康管理に努める教師○和、礼、法を重んじ、信頼される教師

領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策
確かな学力	確かな学力の定着を図るために、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた組織的な授業改善を進める。	言語活動や協働学習を通じた深まりのある指導を実践する。	授業で、「つかむ・考える・広げる・深める」4ステップ授業を定着する。	4 深まりにつながる授業を行った 3 「深める」ための授業の工夫を行った 2 主体的に対話的な授業の工夫を行った 1 個と集団を意識した授業を行った		4 授業が分かりやすく、深まりを感じる生徒が90%以上 3 授業が分かりやすく、深まりを感じる生徒が80%以上 2 授業が分かりやすく、深まりを感じる生徒が50%以上 1 授業が分かりやすく、深まりを感じる生徒が50%未満					
		考えを深めるための読解力と表現力を身に付けさせる。	国語科を中心に、読む・書く時間を確保するとともに、発表活動の場を増やす。	4 深く読み、表現する授業を毎時間展開した 3 深く読み、表現する授業を7割以上行った 2 授業では自分の考えを書く 1 授業では読むこと書くことを大切に		4 考え発表する体験が多いと感じた生徒が80%以上 3 考え発表する体験が多いと感じた生徒が70%以上 2 考え発表する体験が多いと感じた生徒が40%以上 1 考え発表する体験が多いと感じた生徒が40%未満					
		主体的な学習習慣を基に、主体的に学びに向かう態度を養う。	授業のねらいと振り返りを行い、自ら意欲をもって授業や家庭学習を主体的に取り組む。	4 毎時間の振り返りを次時に生かす指導を行った 3 毎時間のねらいと既習事項を関連付けた振り返りを行った 2 毎時間ねらいを示し、振り返りを行った 1 授業のねらいと振り返りを時々行った		4 主体的な学習習慣が定着した生徒が90%以上 3 主体的な学習習慣が定着した生徒が80%以上 2 主体的な学習習慣が定着した生徒が50%以上 1 主体的な学習習慣が定着した生徒が50%未満					
豊かな心	自己有用感を高めることで自尊感情を育み、お互いを大切に尊重できる人間関係を構築する。	考え、議論する道徳授業を実践し、よりよく生きる心を育てる。	①全教員が道徳授業を行う。②全教科で内容項目に関連付けて指導する。	4 生徒が考え、気付きのある発問を工夫した 3 教材解釈と教材の工夫を十分に行った 2 計画通りに22の内容項目を全て扱った 1 自分で教材理解をして年間35時間行った		4 自分を深める内容項目が2つ以上ある生徒が80%以上 3 自分を深める内容項目が2つ以上ある生徒が70%以上 2 自分を深める内容項目が2つ以上ある生徒が50%以上 1 自分を深める内容項目が2つ以上ある生徒が50%未満					
		一人一人を大切に尊重し、努力を認めて褒めることで自尊感情を育む。	傾聴、共感、認める、助言、実行、賞賛する生徒育成サイクルによる指導を実践する。	4 生徒育成サイクル指導の実践が定着した 3 傾聴、共感、認めるから助言につなげた 2 傾聴、共感をし、認める努力をした 1 傾聴せずに、すぐ指導・説諭をする		4 教員は良さを認め伸ばしてくれると感じる生徒が90%以上 3 教員は良さを認め伸ばしてくれると感じる生徒が85%以上 2 教員は良さを認め伸ばしてくれると感じる生徒が50%以上 1 教員は良さを認め伸ばしてくれると感じる生徒が50%未満					
		気持ちよい挨拶や返事を通して、お互いが快適に過ごせる人間関係を築く。	自らすすんで挨拶や返事をする習慣を付けさせる。	4 学校内外では教員自ら挨拶や声かけを行った 3 学校生活での挨拶・返事の指導を徹底した 2 授業中の挨拶・返事の指導を徹底した 1 挨拶・返事の指導を時々行った		4 学校内外で、すすんで挨拶できる生徒が80% 3 学校内で、挨拶・返事ができる生徒が80%以上 2 学校内で、挨拶・返事ができる生徒が50%以上 1 学校内で、挨拶・返事ができる生徒が50%未満					
健やかな体	自らの生活を健康的で健全にするために、体力向上を図り、規則正しい生活を送る。	年間を通して健康に過ごすための基礎体力・持久力の向上を図る。	一人一人に体力向上における目標を設定させ、主体的に運動する習慣を身に付ける。	4 一つ一つの運動の効果や取組方法を徹底指導した 3 体力向上のために個に応じた方法を指導した 2 体力向上の意義と取組み方法を指導した 1 体力向上のための指導した		4 運動を主体的に取り組む生徒が90%以上 3 運動を主体的に取り組む生徒が70%以上 2 運動を主体的に取り組む生徒が50%以上 1 運動を主体的に取り組む生徒が50%未満					
		食事や睡眠を大事にし、自らの健康増進に努める生徒を育てる。	給食を残さず食べる指導を行い、保護者には早寝・早起き・朝ご飯の協力を求める。	4 学級で食の大切さと残さず食べる指導を徹底した 3 学級で食の大切さと残さず食べる指導をした 2 学級で残さず食べる指導に取り組んだ 1 学級で食育指導を定期的に行った		4 全校で1か月の平均残菜率が5%以下 3 全校で1か月の平均残菜率が7%以下 2 全校で1か月の平均残菜率が8%以下 1 全校で1か月の平均残菜率が8%前後					
		SNSの利活用について考え、規則正しい生活を送らせる。	SNS学校ルール of 定着及び家庭ルール of 作成・定着を徹底する。	4 SNSルールの徹底を家庭に指導した 3 SNSルールを学級で指導・徹底した 2 SNS家庭ルールの作成を学級で指導した 1 SNS学校ルールを学級で指導した		4 SNSルールが定着した生徒が80%以上 3 SNSルールが定着した生徒が50%以上 2 SNSルールを意識している生徒が50%以上 1 SNSルールを意識している生徒が50%未満					
輝く未来	家庭・地域との連携を進め、将来にむけて確かな夢をもてるような人格形成を図る。	家庭・地域との信頼関係を深めるために情報発信を行い、意見を求める。	学校・学年だよりの発行、ホームページの更新を毎月行い、読者意見に丁寧に対応する。	4 毎月発行・更新し、地域からの意見に対応した 3 学校・学年だよりとHP更新は毎月1回以上行った 2 学校・学年だよりは毎月1回以上発行した 1 学校だよりは毎月1回以上発行した		4 学校の教育活動に安心している保護者が90%以上 3 学校の教育活動に安心している保護者が80%以上 2 学校の教育活動に安心している保護者が60%以上 1 学校の教育活動に安心している保護者が60%未満					
		キャリア教育によって夢をもち、実現に向けて努力する生徒を育成する。	総合的な学習の時間及び進路学習を通して、将来について具体的に考えさせる。	4 将来の夢の実現に向けた計画づくりを指導した 3 将来の自分を考えさせる指導を行った 2 自分の良さや適正を知る指導を行った 1 働く意義や職業について考えさせる		4 夢に向けてキャリアプランを作った生徒が50%以上 3 将来の夢を具体的に考えた生徒が80%以上 2 将来の夢を見付けるために進路学習を行った 1 将来の夢を見付けるために進学先を考えた					
		9年間を見通した計画的な指導を行い、地域との関わりを深めていく。	福島中グループの小中連携教育における3つのスタンダードを定着させる。	4 スタンダードを周知・徹底し、小学校との実践を深めた 3 スタンダードを徹底するために家庭協力を求めた 2 スタンダード定着に向けクラスで指導・徹底した 1 スタンダードの内容を生徒に理解させた		4 スタンダードを実践し定着した 3 スタンダードを生徒・家庭が実践した 2 スタンダードを家庭が理解できた 1 スタンダードを生徒が理解できた					

学校教育目標	人権尊重の精神を基調として、社会において信頼される人間性豊かな生徒の育成を目指す 豊かに、たくましく そして 創造的に	【目指す学校像】	生徒にとっても教職員にとっても、さらには家庭・地域にとっても「楽しく」、「学び、集いあえる」学校 1、学校は「成長を実感できる場」 2、学校は「自己実現できる場」 3、学校は「夢や機能をはぐくむ場」 4、学校は「安心して安全に生活できる場」 5、学校は「『意外性』と『多様性』を生かしていく場」
		【目指す児童・生徒像】	「豊かに、たくましく そして 創造的」な生徒
		【目指す教師像】	【15歳の生徒の姿に責任をもつ教師】1、生徒一人一人を大切にする教師 2、1時間1時間の授業を大切にする教師 3、生徒・家庭・地域から信頼される教師 4、「和」を重んじ、チームのために自己の力を発揮できる教師 5、清泉中を愛する教師

領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策	
確かな学力	基礎的・基本的な知識や技能の習得 思考力・判断力・表現力等を育成し、主体的に学ぶ態度の育成と学習意欲の向上を図る。	指導方法の工夫改善	・「何のために」を生徒と教師が共有した指導の実施 ・板書、課題提示など誰にとっても分かりやすい授業の実施	4 自己評価4段階平均値3.8以上		4 90%以上の生徒が肯定的な回答						
				3 自己評価4段階平均値3.6以上		3 80%以上の生徒が肯定的な回答						
				2 自己評価4段階平均値3.4以上		2 70%以上の生徒が肯定的な回答						
				1 自己評価4段階平均値3.4未満		1 70%未満の生徒が肯定的な回答						
		生き抜いていくための基礎・基本の力の定着	・自主勉強会の実施 ・1人1台タブレットを使用した家庭学習の実施	4 自己評価4段階平均値3.5以上		4 80%以上の生徒が肯定的な回答						
				3 自己評価4段階平均値3.3以上		3 65%以上の生徒が肯定的な回答						
				2 自己評価4段階平均値3.1以上		2 50%以上の生徒が肯定的な回答						
				1 自己評価4段階平均値3.1未満		1 50%未満の生徒が肯定的な回答						
		自らの考えを大切に、既習事項や経験を生かした意見交換、考えの再考をする学びの充実	・1人1台タブレット等を活用した意見交換の実施 ・対話を通して考えを深めていく学習活動の充実	4 自己評価4段階平均値3.5以上		4 80%以上の生徒が肯定的な回答						
				3 自己評価4段階平均値3.3以上		3 70%以上の生徒が肯定的な回答						
				2 自己評価4段階平均値3.1以上		2 60%以上の生徒が肯定的な回答						
				1 自己評価4段階平均値3.1未満		1 60%未満の生徒が肯定的な回答						
豊かな心	落ち着いた学校生活の実現を図るとともに、自尊感情や自己肯定感を高め、豊かな心の育成を図る。	規範意識のある自己肯定感、自己有用感の醸成	・ルールを生徒自らを考え、つくり守る指導の充実 ・自分のよさや強みを発揮する自治的活動の充実	4 自己評価4段階平均値3.8以上		4 90%以上の生徒が肯定的な回答						
				3 自己評価4段階平均値3.6以上		3 80%以上の生徒が肯定的な回答						
				2 自己評価4段階平均値3.4以上		2 70%以上の生徒が肯定的な回答						
				1 自己評価4段階平均値3.4未満		1 70%未満の生徒が肯定的な回答						
		生徒の主体的活動の充実	・生徒会活動を中心に、生徒企画による活動の充実	4 自己評価4段階平均値3.8以上		4 80%以上の生徒が肯定的な回答						
				3 自己評価4段階平均値3.6以上		3 70%以上の生徒が肯定的な回答						
				2 自己評価4段階平均値3.4以上		2 60%以上の生徒が肯定的な回答						
				1 自己評価4段階平均値3.4未満		1 60%未満の生徒が肯定的な回答						
		誰もが楽しめる活動の設定	・道徳科を要とし人権教育を推進 ・学級活動の話し合いの質の向上	4 自己評価4段階平均値3.5以上		4 80%以上の生徒が肯定的な回答						
				3 自己評価4段階平均値3.3以上		3 65%以上の生徒が肯定的な回答						
				2 自己評価4段階平均値3.1以上		2 50%以上の生徒が肯定的な回答						
				1 自己評価4段階平均値3.1未満		1 50%未満の生徒が肯定的な回答						
健やかな体	心身ともにたくましく、健やかな生徒の育成を図る。	個に応じた体力の向上	・体育の授業や部活動、行事などを通じて体を動かす楽しさを感じる機会の拡大	4 自己評価4段階平均値3.8以上		4 80%以上の生徒が肯定的な回答						
				3 自己評価4段階平均値3.6以上		3 70%以上の生徒が肯定的な回答						
				2 自己評価4段階平均値3.4以上		2 60%以上の生徒が肯定的な回答						
				1 自己評価4段階平均値3.4未満		1 60%未満の生徒が肯定的な回答						
		何事にもあきらめない心の醸成	・全教育活動を通じて自己調整力を付ける指導の充実 ・体験活動の充実	4 自己評価4段階平均値3.8以上		4 80%以上の生徒が肯定的な回答						
				3 自己評価4段階平均値3.6以上		3 65%以上の生徒が肯定的な回答						
				2 自己評価4段階平均値3.4以上		2 50%以上の生徒が肯定的な回答						
				1 自己評価4段階平均値3.4未満		1 50%未満の生徒が肯定的な回答						
		食育の推進	・自分や家族の食事について考え、実践する指導を行う	4 自己評価4段階平均値3.5以上		4 80%以上の生徒が肯定的な回答						
				3 自己評価4段階平均値3.3以上		3 70%以上の生徒が肯定的な回答						
				2 自己評価4段階平均値3.1以上		2 60%以上の生徒が肯定的な回答						
				1 自己評価4段階平均値3.1未満		1 60%未満の生徒が肯定的な回答						
輝く未来	生徒一人ひとりの夢と希望を育むために、3年間の見通しに立った進路指導の実現を図る。	キャリア教育の推進	総合的な学習の時間を通じて、自らの生き方を考え、自己決定していく指導の実施	4 自己評価4段階平均値3.8以上		4 80%以上の生徒が肯定的な回答						
				3 自己評価4段階平均値3.6以上		3 70%以上の生徒が肯定的な回答						
				2 自己評価4段階平均値3.4以上		2 60%以上の生徒が肯定的な回答						
				1 自己評価4段階平均値3.4未満		1 60%未満の生徒が肯定的な回答						
		進路指導の充実	生徒や保護者に寄り添い、丁寧かつ誠実な進路指導を実施	4 自己評価4段階平均値3.8以上		4 90%以上の生徒が肯定的な回答						
				3 自己評価4段階平均値3.6以上		3 80%以上の生徒が肯定的な回答						
				2 自己評価4段階平均値3.4以上		2 70%以上の生徒が肯定的な回答						
				1 自己評価4段階平均値3.4未満		1 70%未満の生徒が肯定的な回答						
		働くことの意義の理解と喜びを知る教育の推進	生徒の自治的活動を推進するとともに、地域と連携した体験活動の実施	4 自己評価4段階平均値3.5以上		4 80%以上の生徒が肯定的な回答						
				3 自己評価4段階平均値3.3以上		3 70%以上の生徒が肯定的な回答						
				2 自己評価4段階平均値3.1以上		2 60%以上の生徒が肯定的な回答						
				1 自己評価4段階平均値3.1未満		1 60%未満の生徒が肯定的な回答						

学校教育目標	勉学 敬愛 至誠 健康	よく考え正しく判断できる人 人を敬愛し愛と慈しみのある人 誠実で責任感の強い人 健康で心身ともにたくましい人	【目指す学校像】	(1)安心して楽しく活動できる学校 (2)生きる力を育む学校 (3)家庭・地域とのつながりを大切にする学校
			【目指す児童・生徒像】	(1)主体的に学習する生徒 (2)相手のことを考えながら行動できる生徒 (3)共に心身を鍛える生徒
			【目指す教師像】	(1)生徒と正面から向かい合える教師 (2)豊かな人間性を備えた教師 (3)学び続ける教師

領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策
確かな学力	基礎・基本の定着	授業規律の確立	落ち着いた一日のスタートを切るための主体的な朝読書の取組	4 生徒が8:20分には朝読書をするように指導した95%以上達成	4	4 朝読書で毎日、8:20には集中して取り組んだ80%以上	4				
				3 生徒が8:20分には朝読書をするように指導した80%以上達成	3	3 朝読書で毎日、8:20には集中して取り組んだ70%以上	3				
				2 生徒が8:25分には朝読書をするように指導した95%以上達成	2	2 朝読書で毎日、8:25には集中して取り組んだ80%以上	2				
				1 生徒が8:25分には朝読書をするように指導した95%未満達成	1	1 朝読書で毎日、8:25には集中して取り組んだ80%未満	1				
		教員が授業始まりに教室でチャイムを聞く実践95%以上	4 チャイム終了時に授業開始の号令実施90%以上	4	4 着席チャイムが、学期を通して守ることができた90%以上	4					
			3 チャイム終了時に授業開始の号令実施80%以上	3	3 着席チャイムが、学期を通して守ることができた80%以上	3					
			2 チャイム終了時に授業開始の号令実施70%以上	2	2 着席チャイムが、学期を通して守ることができた70%以上	2					
			1 チャイム終了時に授業開始の号令実施70%未満	1	1 着席チャイムが、学期を通して守ることができた70%未満	1					
わかる授業、達成感・満足感のある授業の実践	生徒が見通しを持ち、授業で学んだことが分かる授業の実践	4 授業の目標・流れを示し、振り返り実施90%以上	4	4 授業の目標、一時間の流れを示し、振り返りをしている。90%以上	4						
		3 授業の目標・流れを示し、振り返り実施85%以上	3	3 授業の目標、一時間の流れを示し、振り返りをしている。80%以上	3						
		2 授業の目標・流れを示し、振り返り実施80%以上	2	2 授業の目標、一時間の流れを示し、振り返りをしている。70%以上	2						
		1 授業の目標・流れを示し、振り返り実施80%未満	1	1 授業の目標、一時間の流れを示し、振り返りをしている。70%未満	1						
	一単位時間の学び量が豊富な授業の実践	4 週案に授業の目標提示、授業の振り返りを実践90%以上	4	4 達成感、満足感がある。80%以上	4						
		3 週案に授業の目標提示、授業の振り返りを実践80%以上	3	3 達成感、満足感がある。70%以上	3						
		2 週案に授業の目標提示、授業の振り返りを実践70%以上	2	2 達成感、満足感がある。60%以上	2						
		1 週案に授業の目標提示、授業の振り返りを実践70%未満	1	1 達成感、満足感がある。60%未満	1						
豊かな心	主体的に規律を守る生徒の育成	教員・生徒ともに挨拶を主体的に実践及び生徒会活動の活性化	4 生徒が主体的に挨拶できるよう毎日指導を行った。90%	4	4 挨拶を、自ら進んで毎日できている。70%以上	4					
			3 生徒が主体的に挨拶できるよう毎日指導を行った。80%	3	3 挨拶を、自ら進んで毎日できている。60%以上	3					
			2 生徒が主体的に挨拶できるよう毎日指導を行った。70%	2	2 挨拶を、自ら進んで毎日できている。50%以上	2					
			1 生徒が主体的に挨拶できるよう毎日指導を行った。70%未満	1	1 挨拶を、自ら進んで毎日できている。50%未満	1					
	主体的な清掃活動を充実させるために委員会活動の活性化	4 積極的に行った	4	4 清掃活動を、自ら進んできちんと行った90%以上	4						
		3 どちらかといえば積極的に取り組んだ	3	3 清掃活動を、自ら進んできちんと行った80%以上	3						
		2 どちらかといえば消極的になってしまった	2	2 清掃活動を、自ら進んできちんと行った70%以上	2						
		1 消極的になってしまった	1	1 清掃活動を、自ら進んできちんと行った70%未満	1						
主体的に行動できる生徒の育成	行事・委員会・係活動において、主体的に考え行動できるような指導・支援の推進	4 積極的に行った	4	4 行事・委員会・係活動に、自ら進んで積極的に参加できた。90%以上	4						
		3 どちらかといえば積極的に取り組んだ	3	3 行事・委員会・係活動に、自ら進んで積極的に参加できた。80%以上	3						
		2 どちらかといえば消極的になってしまった	2	2 行事・委員会・係活動に、自ら進んで積極的に参加できた。70%以上	2						
		1 消極的になってしまった	1	1 行事・委員会・係活動に、自ら進んで積極的に参加できた。70%未満	1						
健やかな体	主体的に健康管理のできる生徒の育成	主体的な健康管理を推進するための生徒会活動の活性化	4 積極的に行った	4	4 自ら進んで日々の健康管理に努めた80%以上	4					
			3 どちらかといえば積極的に取り組んだ	3	3 自ら進んで日々の健康管理に努めた70%以上	3					
			2 どちらかといえば消極的になってしまった	2	2 自ら進んで日々の健康管理に努めた60%以上	2					
			1 消極的になってしまった	1	1 自ら進んで日々の健康管理に努めた60%未満	1					
	防災意識の高い生徒の育成	毎回の避難訓練において、防災意識を高める実践	4 積極的に行った	4	4 避難訓練の始まりから終わりまで真剣に行えた90%以上	4					
			3 どちらかといえば積極的に取り組んだ	3	3 避難訓練の始まりから終わりまで真剣に行えた80%以上	3					
			2 どちらかといえば消極的になってしまった	2	2 避難訓練の始まりから終わりまで真剣に行えた70%以上	2					
			1 消極的になってしまった	1	1 避難訓練の始まりから終わりまで真剣に行えた70%未満	1					
輝く未来	他者理解を心がけ、人間関係における課題を見つけ、解決していく生徒の育成	行事や学級活動を通して、円滑な人間関係の創造	4 積極的に取り組んだ	4	4 行事・学級活動を通して、思いやりのある行動が取れた	4					
			3 どちらかといえば積極的に取り組んだ	3	3 行事・学級活動を通して、どちらかといえば思いやりのある行動が取れた	3					
			2 どちらかといえば消極的になってしまった	2	2 行事・学級活動を通して、どちらかといえば思いやりのある行動が取れなかった	2					
			1 消極的になってしまった	1	1 行事・学級活動を通して、思いやりのある行動が取れなかった	1					
	将来の生き方を考えられる生徒の育成	キャリアパスポート、職業調べ、職場体験、上級学校調べ、高校の先生の話聞く会等キャリア教育の充実	4 生徒が主体的に取り組めるよう積極的に指導した	4	4 将来の生き方について自ら進んで考えた90%以上	4					
			3 生徒が主体的に取り組めるようどちらかといえば積極的に指導した	3	3 将来の生き方について自ら進んで考えた80%以上	3					
			2 生徒が主体的に取り組むための指導がどちらかといえば消極的だった	2	2 将来の生き方について自ら進んで考えた70%以上	2					
			1 生徒が主体的に取り組むための指導が消極的だった	1	1 将来の生き方について自ら進んで考えた70%未満	1					

学校教育目標	進んで勉強しよう 思いやりのある人になろう 進んで心身をきたえよう	【目指す学校像】	1子ども達が安心して学び、自己実現できる学校 2個性と能力を伸ばし将来の夢や希望を育む学校 3保護者・地域と連携を図り、信頼される学校
		【目指す児童・生徒像】	1主体的に学び、粘り強く取り組む生徒 2仲間を大切にし、集団としての規律が守れる生徒 3自ら努力し、己を鍛える生徒
		【目指す教師像】	生徒一人一人の良さを認め、厳しさ愛情を注げる教師 2自己研鑽に努め、組織の一員として力を発揮できる教師 3豊かな人間性を備え、生徒・保護者・地域から信頼される教師

領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策	
確かな学力	基礎・基本の定着	授業改善推進プランに基づく、わかる授業、達成感・満足感のある授業の実践	授業改善推進プランに基づいた指導を週ごとの指導計画に位置付け	4 教員の週案提出率100%		4 学力調査の平均正答率が都平均から-5ポイント以内						
				3 教員の週案提出率90%以上		3 学力調査の平均正答率が都平均-7ポイント以内						
				2 教員の週案提出率80%以上		2 学力調査の平均正答率が都平均-10ポイント以内						
				1 教員の週案提出率80%未満		1 学力調査の平均正答率が都平均-13ポイント以内						
		ICT機器を効果的に活用した多様な指導方法の工夫	デジタル教科書やアプリを活用した学びの姿勢が高まる授業づくり	4 生徒の意欲と理解を促すICT機器の活用に向けた100%		4 タブレットを活用したわかりやすい学習活動60%以上						
				3 生徒の意欲と理解を促すICT機器の活用に向けた90%以上		3 タブレットを活用したわかりやすい学習活動50%以上						
				2 生徒の意欲と理解を促すICT機器の活用に向けた80%以上		2 タブレットを活用したわかりやすい学習活動40%以上						
		家庭学習の定着	基礎の定着を図る家庭学習の推進	4 家庭学習への指導を毎週行った80%以上		4 家庭学習の時間が平均1~2時間が60%以上						
				3 家庭学習への指導を毎週行った70%以上		3 家庭学習の時間が平均1~2時間が50%以上						
豊かな心	豊かな情操の育成	偏見や差別のない豊かな人間性の育成	集団の一員としての自覚をもち、個性を認め、協力し合える生徒の育成	4 「絆づくり」を意識した教育活動を行った90%以上		4 落ち着いて安心して生活できている80%以上						
				3 「絆づくり」を意識した教育活動を行った80%以上		3 落ち着いて安心して生活できている70%以上						
				2 「絆づくり」を意識した教育活動を行った70%以上		2 落ち着いて安心して生活できている60%以上						
		多様で豊かな教育活動による自己有用感の醸成	学級満足度調査の活用による、生徒の良さを発揮できる教育活動の実践	4 生徒の心に寄り添い、良さを活かす支援を行った100%		4 他者と協力し、達成感を味わえる体験ができた80%以上						
				3 生徒の心に寄り添い、良さを活かす支援を行った90%以上		3 他者と協力し、達成感を味わえる体験ができた70%以上						
				2 生徒の心に寄り添い、良さを活かす支援を行った80%以上		2 他者と協力し、達成感を味わえる体験ができた60%以上						
		他者理解を心掛け人間関係における課題を見付け解決していく生徒の育成	学級活動・行事・生徒会活動・部活動等における円滑な人間関係の構築	4 生徒一人一人が活躍できる教育活動を行った100%		4 行事、学級活動を通して思いやりのある行動がとれた80%以上						
				3 生徒一人一人が活躍できる教育活動を行った90%以上		3 行事、学級活動を通して思いやりのある行動がとれた70%以上						
				2 生徒一人一人が活躍できる教育活動を行った80%以上		2 行事、学級活動を通して思いやりのある行動がとれた60%以上						
健やかな体	心と体の健康維持	自ら健康管理のできる生徒の育成	主体的な健康管理を推進する指導の実践	4 生徒が主体的に健康管理できるよう日々取り組んだ90%		4 自ら進んで日々の健康管理に努めた90%以上						
				3 生徒が主体的に健康管理できるよう日々取り組んだ80%以上		3 自ら進んで日々の健康管理に努めた80%以上						
				2 生徒が主体的に健康管理できるよう日々取り組んだ75%以上		2 自ら進んで日々の健康管理に努めた70%以上						
		年間指導計画に基づく安全教育的推進	正しい行動選択ができるようにするための避難訓練、セーフティ教室の実施	4 安全教育・予防指導の徹底に努めた90%以上		4 学んだ知識を生活によく生かしている50%以上						
				3 安全教育・予防指導の徹底に努めた80%以上		3 学んだ知識を生活によく生かしている40%以上						
				2 安全教育・予防指導の徹底に努めた70%以上		2 学んだ知識を生活によく生かしている30%以上						
		体力向上に向けた教育活動の推進	体育の補教運動、昼休みの校庭開放、部活動等の運動習慣の育成	4 運動に親しむ取り組みを行った80%以上		4 学校でたくさん体を動かしている50%以上						
				3 運動に親しむ取り組みを行った70%以上		3 学校でたくさん体を動かしている40%以上						
				2 運動に親しむ取り組みを行った60%以上		2 学校でたくさん体を動かしている30%以上						
輝く未来	自主自律の精神の育成	自己の将来を切り拓く力の育成	自治的な学級活動、生徒会活動、部活動の実施	4 生徒が主体的に課題解決できるように指導した80%以上		4 自分の生活を振り返り、よりよくしようと思う80%以上						
				3 生徒が主体的に課題解決できるように指導した70%以上		3 自分の生活を振り返り、よりよくしようと思う70%以上						
				2 生徒が主体的に課題解決できるように指導した60%以上		2 自分の生活を振り返り、よりよくしようと思う60%以上						
		自身の変容や成長を自己評価する取り組みの充実	行事や学期ごとのキャリアパスポートの活用	4 キャリヤパスポートの活用ができた90%以上		4 自分の得意なことを考えることができた80%以上						
				3 キャリヤパスポートの活用ができた80%以上		3 自分の得意なことを考えることができた70%以上						
				2 キャリヤパスポートの活用ができた70%以上		2 自分の得意なことを考えることができた60%以上						
		豊かな人間性と社会性を養う系統的なキャリア教育の充実	3年間を見通したキャリア教育の実践(職業調べ、職場体験、上級学校調べ)	4 生徒が主体的に取り組めるよう指導した85%以上		4 将来の生き方について自ら進んで考えた95%以上						
				3 生徒が主体的に取り組めるよう指導した75%以上		3 将来の生き方について自ら進んで考えた90%以上						
				2 生徒が主体的に取り組めるよう指導した65%以上		2 将来の生き方について自ら進んで考えた80%以上						
1 生徒が主体的に取り組めるよう指導した65%未満	1 将来の生き方について自ら進んで考えた80%未満											